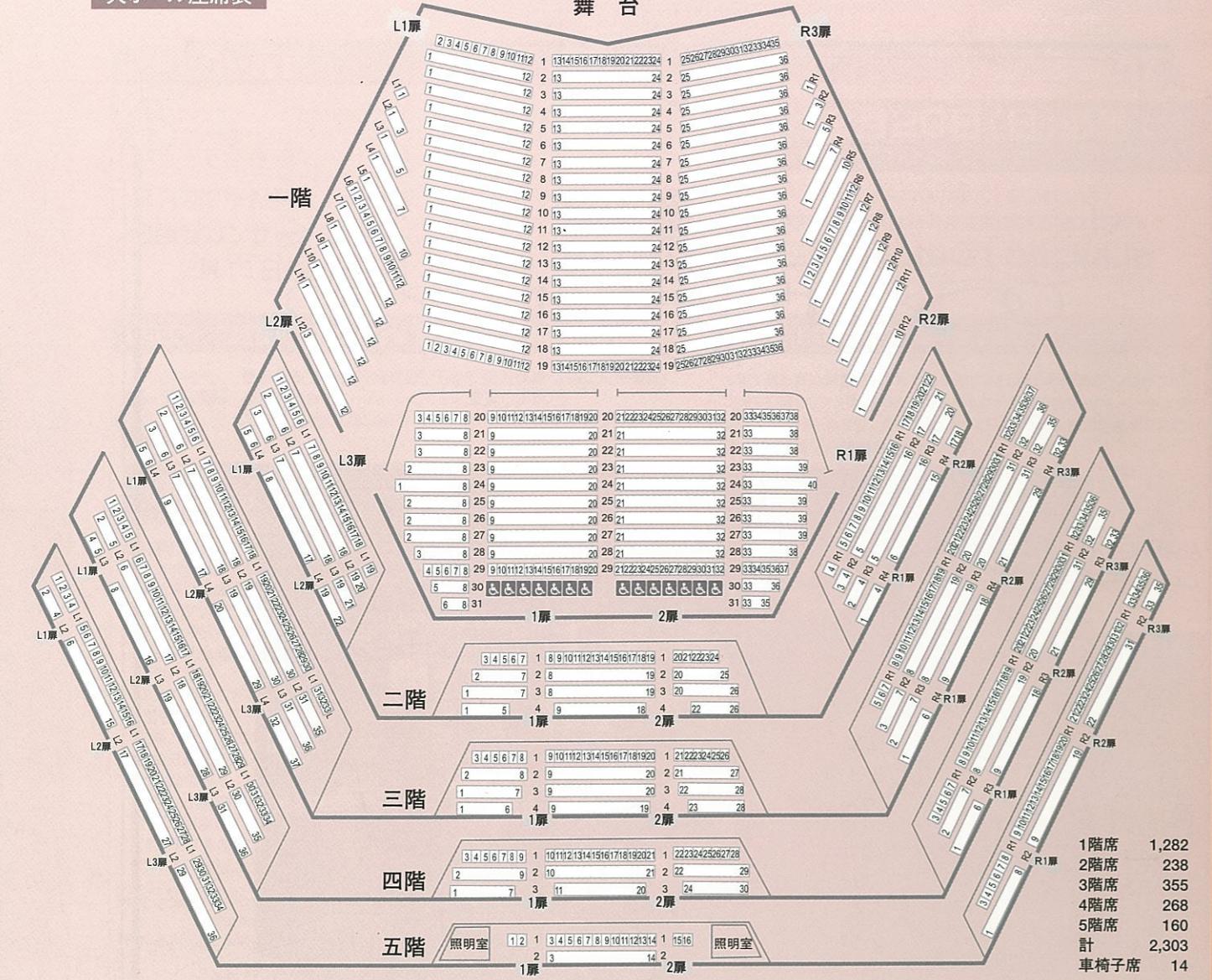
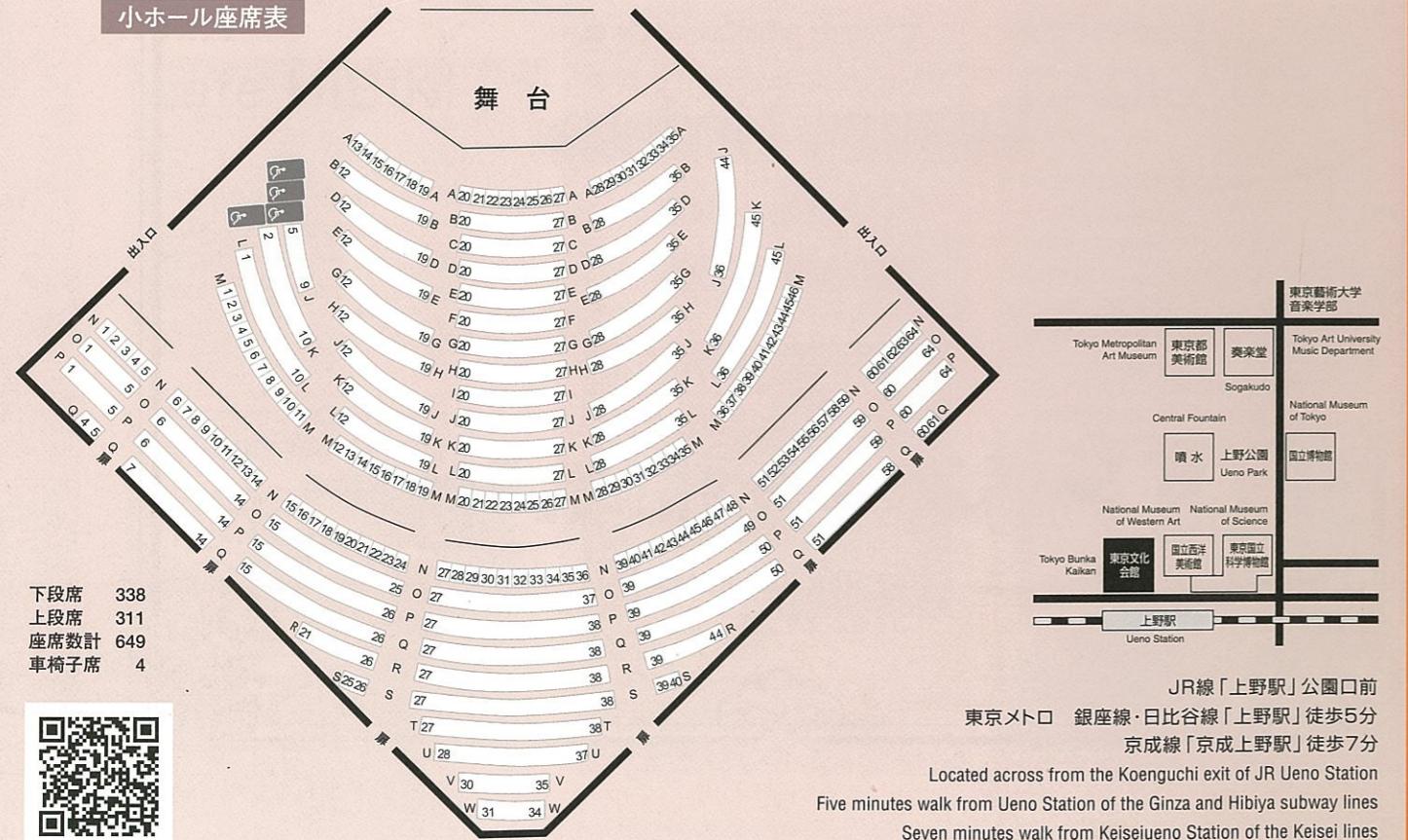


大ホール座席表



小ホール座席表



東京文化会館モバイルサイト

東京文化会館公演情報

2010年1月～3月

音
脈
Vol.37
2010.Winter

2009年11月30日発行
発行
東京文化会館
編集
東京文化会館事業企画課
日本印刷(株)

〒110-8716 東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111(代表)
<http://www.t-bunka.jp/>
E-mail : oto@t-bunka.jp

音 脈



Vol.37
2010 Winter

CONTENTS

- 第7回東京音楽コンクール 優勝者インタビュー 2
- コラボレーションコンサート 6
- インフォメーション information 8
- 開館50周年に向けて 10
- 「東京文化会館開館50周年と
東京都交響楽団の45年の歩みによせて」
- 木之下晃のレンズは語る 12
- 「博識家・若杉弘」
- 冬の公演から 13
- 催し物案内1月～3月 14
- 音楽資料室より 20
- 都響ニュース Vol.14 21
- プレゼント他 22

第7回東京音楽コンクール 優勝者インタビュー

東京音楽コンクールは、
将来の音楽界を担う才能溢れるアーティストを発掘し、
育成・支援を行うことを目的として開催しています。
今回は残暑と台風の中、去る8月28日から31日にかけて、
東京文化会館大ホールで第7回東京音楽コンクールの本選が行われ、
各部門の優勝者に表彰式後、お話を伺いました。



●木管部門優勝者
またのきあゆみ
極木亜裕美さん
(クラリネット)

●クラリネットを始めたきっかけ、音楽家の道に進もうと思ったきっかけは
ですか？

極木：吹奏楽部に入部し、全部の楽器を吹いてみたのですが、びんと来た
のがクラリネットでした。クラリネットは、いろいろな表情がつけられ、甘く、
ちょっと暗く悲しげでロマンティックな音色に惹かれたのだと思います。

●次に、このコンクールに応募したきっかけ、経緯を教えて下さい。

極木：審査委員が（師事している）鈴木良昭先生でしたので、また、本選では、オーケストラと共に演じられるので、良い経験になると思い応募しました。

●本選でオーケストラと共に演じて、いかがでしたか。ソロの2次予選とオ
ケと共に演じた本選では、どう感じましたか。

極木：今回初めてオーケストラと共に演じたので、とても緊張はしていたので
すが、自分の中でオーケストラの音を味わいながら、自分の音を楽し
みながら演奏したいと思っていました。このコンクールのステージで演
奏でき最高に幸せでした。

●2次予選のソロのときとの演奏の違いや苦労したことはありますか。

極木：2次予選では、何回もピアノ伴奏で練習をして本番に出ていました
が、本選では前日のオーケストラとの合わせと本番のゲネプロだけ
だったので、やはりそこが大変でした。

●審査結果発表のときはどんなお気持ちでしたか。

極木：まさか私が第1位を受賞出来るとは思っていなかったので、本当に驚
いています。ありがとうございます。

●ところで、尊敬している演奏家や、理想としている演奏家などはいらっしゃ
いますか。

極木：尊敬している演奏家や理想としている演奏家は沢山います。ピアノ、
弦楽器、声楽、管楽器等、さまざまなジャンルの方々で。日本のクラリ
ネット奏者では、師匠の様になりたいと思っています。

●では最後に、今後どのような音楽家になりたいですか。

第7回東京音楽コンクール審査結果

部門	順位	氏名	楽器・声部
木管 (8月28日)	第1位	極木 亜裕美	クラリネット
	第2位	押部 朋子	フルート
	第3位	濱崎 麻里子☆	フルート
	入選	全橋 泰花	フルート
ピアノ (8月29日)	第1位	加藤 大樹☆	ピアノ
	第2位	山田 翔	ピアノ
	第3位	花田 えり佳	ピアノ
	入選	村上 明子	ピアノ
声楽 (8月30日)	第1位	清水 理恵☆	ソプラノ
	第2位	箕尾 麻衣	ソプラノ
	第3位	高橋 さやか	ソプラノ
	入選	佐藤 優子	ソプラノ
弦楽 (8月31日)	第1位	大島 売	ヴィオラ
	第2位	加藤 文枝	チェロ
	第3位	寺内 詩織☆	ヴァイオリン
	入選	小間 郁	ヴァイオリン

☆印は、諸業賞受賞者。

極木：聴いて下さる皆様に感動を与えられるような演奏家になりたいと思
っています。そのためには、さまざまなものに興味を持って自分自身の
知識や感性を広げて、日々努力をし、この賞に負けぬよう精一杯頑
張っていこうと思います。



●ピアノ部門優勝者
かとうだいき
加藤大樹さん

●まず、ピアノを始めたきっかけ、音楽家の道に進もうと思ったきっかけをお
願いします。

加藤：実際にピアノを弾き始めたのは4歳の頃だったと思います。初めは周
りの子たちと同じように習い事のひとつとして始めましたが、ピアノを
弾くことはとても好きでした。音楽の道に進む志をしたのは高校生に
なってからです。それまでも色々と悩みはありましたが、音楽が自分の
進む道だと決意しました。

●次に、このコンクールに応募したきっかけ、経緯を教えて下さい。

加藤：審査委員の先生方が現役で活躍されているピアニストいらっしゃ
ること、またソロ、コンチェルトとレパートリーも満遍なく要求されるコン
クールであることに魅力を感じました。東京文化会館で演奏が出来
る事も大きな魅力でした。

●本選でオーケストラと共に演じてみていかがでしたか。ソロの2次予選との
違いや工夫したところなどありますか。

加藤：ソロとコンチェルトは、演奏側の規模も、ホールの大きさも違います。1
人の空間と時間を持ち表現するのと、オーケストラと「一緒に」どのように空間を作り上げるのか。自分の思いを聴衆の方々へはもちろん、オーケストラの方々にも伝えて共有しないと「一緒に」作り出すことは出来ないので、演奏は違います。その点が工夫したところです。

●審査結果発表のときはどんなお気持ちでしたか。

加藤：審査結果発表のときはどんなときでもいつもドキドキするんですけど
(笑)。自分の名前が呼ばれたときは本当に驚きましたし、嬉
かったです。そして、お世話になっている先生方、両親、友人などい
つも支えて下さる多くの方々へ恩返しをすることが出来たということが1番嬉しかったです。

●ところで、尊敬している演奏家や理想としている演奏家はいらっしゃいま
すか。

加藤：演奏家という立場は作曲家が何を伝えたかったのか、それを敏感に
感じ取り、作品に畏敬の念を持ち、自分なりの感性を通じて伝えていく
使命があると思います。その使命を全うしてきた全ての演奏家の
方々を僕は尊敬しています。個人的にはブレンデルやヴィルヘルム・ケ
ンプの演奏は特に好きです。

●では最後に、今後どのような音楽家になっていきたいですか。

加藤：やはり自分も、作曲家が何を伝えたかったのか、200年300年と名前
が残っているということは並大抵ではないと思います。作曲家が命を
かけて残した深いメッセージを伝えていくこと、そして自分の演奏を
聴いてくださる方の心の奥底に光を届け、勇気と希望が湧き立つよ
な演奏ができる音楽家になりたいです。

●審査結果発表のときはどんなお気持ちでしたか。

清水：すごくびっくりして、あまり言葉が出なくなってしまいました。

●ところで、尊敬している演奏家とか、理想としている声楽家とかいらっしゃ
いますか。

清水：マリア・カラスが大好きで、彼女の歌っていうのは、歌っているんだけれ
ども、言葉が劇的に聴こえるので、本当に尊敬しています。また、マリ
エッラ・デヴィーのように、ベルカント唱法で深い音色で歌えるよう勉
強していきたいと思っています。

●最後に、今後どのような声楽家になっていきたいと思いますか。

清水：お客様のハートにダイレクトに届く歌を歌えたらいいな、と思います。
情熱的な面もあり、優しい部分もあり…聴いてくださる方の心を動か
せるような歌を歌っていけたらいいなと思います。



●声楽部門優勝者

しみずりえ
清水理恵さん
(ソプラノ)

●声楽を始めたきっかけ、音楽家になろうと思ったきっかけを教えて下さい。
清水：歌が好きで、小学生の頃、合唱団に入っていました。本当は教師にな
りたくて、音楽学校に行ったんですが、途中でオペラの楽しさに目覚
めてしまって、そこからオペラ歌手になりたいと思い、目指し始めま
した。

●次に、コンクールに応募したきっかけや経緯を教えて下さい。

清水：このコンクールが始まる前の「東京文化会館新進音楽家デビューコ
ンサート」で、東京文化会館の大ホールで歌わせて頂けた事がとても
楽しく、貴重な経験となりました。翌年から、コンクールが始まり、「い
つか絶対受けたい」と思っていたのですが、今年が年齢制限最後
の年ということもあり、「本選に進めたら、また東京文化会館の大ホ
ールで、しかもオーケストラで歌わせて頂ける」と思い、応募させていた
だきました。

●本選でオーケストラと共に演じてみていかがでしたか。2次予選のピアノの
伴奏のときとの違いや工夫、感じられたことなどありましたら。

清水：ピアノの伴奏のときは、ピアニストの方が私のわがままを察知して、そ
の場の雰囲気でも合わせて下さるんですけど、オーケストラとなり
ますと、やはり1人ではなく大勢の方がいらっしゃるので、急には進め
ないし、止まないので、次を予感させるような歌いができるよう、また、
自分がどう歌いたいか伝えられるよう、意識しました。

●審査結果発表のときはどんなお気持ちでしたか。

清水：すごくびっくりして、あまり言葉が出なくなってしまいました。

●ところで、尊敬している演奏家とか、理想としている声楽家とかいらっしゃ
いますか。

清水：マリア・カラスが大好きで、彼女の歌っていうのは、歌っているんだけれ
ども、言葉が劇的に聴こえるので、本当に尊敬しています。また、マリ
エッラ・デヴィーのように、ベルカント唱法で深い音色で歌えるよう勉
強していきたいと思っています。

●最後に、今後どのような声楽家になっていきたいと思いますか。

清水：お客様のハートにダイレクトに届く歌を歌えたらいいな、と思います。
情熱的な面もあり、優しい部分もあり…聴いてくださる方の心を動か
せるような歌を歌っていけたらいいなと思います。





●弦楽部門優勝者
おおしま りょう
大島 亮さん
(ヴァイオラ)

●ヴァイオラを始めたきっかけ、音楽家になろうと思ったきっかけを教えて下さい。

大島：大学卒業まではヴァイオリン科だったのですが、高校生のときに桐朋学園の室内楽の講習会があり、ヴァイオラを担当して、「ヴァイオラ、いいな」ってそのときに少し感じて、大学入学後、副科で岡田伸夫先生に習うようになりました。やはりヴァイオラ独特の奏法等があるから専門の先生がいらっしゃるのかなということで習い始めて、実際、大学卒業後、性格的にヴァイオラが好きだな、と思って変わったのがきっかけという流れなんですけど。

●ヴァイオラの弦はヴァイオリンより5度も低いしアルト譜表だし、読み替えとかスムーズに出来るものなんですか。

大島：さすがに初めは苦労しました。例えば、押さえている弦と弾く弦を間違えてしまって、開放弦を弾いてしまったりしていたんですが、今は逆にト音記号の方がたまにあやしくなったり…(笑)。

●次に、コンクールに応募したきっかけや経緯を教えて下さい。

大島：この1年くらい中途半端な状態が続いてしまって、「これでは駄目だ」と、目標を優勝するとかではなく、「人の前で演奏することに恥じないように練習をする」状況に自分を置くために応募しました。

●今日共演された東フィルさんとはかなり馴染みらしいと伺ったのですが…。

大島：7、8回エキストラで呼んでいただいていました。

●本選でオーケストラと共に演奏してみて、2次予選はピアノの伴奏のソロで、違いや工夫したところ、大変だったところ等ありますか。

大島：一緒に弾いて下さったピアニストも本当に素晴らしい方なので、楽しかったし、オーケストラは本当にサポートしてくれて、本番で全然いつも違うことやつても優しくフォローして下さってたので、自分の出来る限りのことは出来たかな、と。実際、違うことといえば、練習のときにピアノ伴奏でコンチェルトを演奏すると、やはり小回りが利くので、急なテンポの変化とかも可能でしたが、オケだと何十人もいるので響きも残り方も違うし、間の取り方などタイムラグは昨日今日(リハーサル、ゲネプロ、本番)とやってみて勉強になりました。いつもはちゃんとやつても付いてきてくださっていたので、ピアノは。



●ところで、尊敬している演奏家や理想としている演奏家はいらっしゃいますか。今後どういう音楽家になりたいですか。

大島：お世話になっているヴァイオラ奏者の先生方は、本当に皆さん尊敬しています。特定は出来ないんですが、僕がお世話になっているのは日本人の先生方が多いんですけども、ヴァイオラという楽器をもっと広めたいとか、ヴァイオリニストを育てていきたいとか、ヴァイオラ界の発展を意識されていて、そういう生き方が良いなと思って。僕も将来2、30年後、今の先生方と同じ年齢になったときに、次の世代の方たちに対して同じように役割を担えるような奏者になりたいです。もちろんそのためには、これから本当に勉強しないといけません。

アンサンブルが好きなので、オーケストラや室内楽を中心に活動したいです。そして、僕らと同世代のヴァイオラの方たちと一緒にヴァイオラ界を盛り上げていきたいです。



オーケストラ楽団員として出演された昨年度金管部門優勝者にもリハーサル終了後にお話を伺いました。
●第6回金管部門優勝者
ふじ はらこう じ ろう
藤原功次郎さん
(トロンボーン／日本フィルハーモニー交響楽団)

●昨年第6回の東京音楽コンクール金管部門で第1位を受賞後、日本フィルハーモニー交響楽団(以下、日フィル)に入団されたということですが、日フィルに入団されたきっかけを教えて下さい。

藤原：ちょうど1年前の東京音楽コンクールで入賞することが出来まして、その後、日フィルのトロンボーンの方から連絡があり、エキストラのお仕事の話をいただきまして、団の温かい雰囲気に触れて、「やっぱり演奏がしたい」「ここで音楽が出来たらいいな」と気持ちが高ぶっていた直後に、オーディションがあり、「絶対受けよう」と思っていて、12月に1次のオーディションがあり、年明けすぐに最終選考まで残り射止めました。

●コンクールがきっかけになって約半年後には入団が決まっていることですね。

去年はコンクールの出場者として、本選で演奏して競って、今年は出場者をサポートする側のオーケストラのメンバーということで、同じ東京文化会館の大ホールの舞台に立たれたわけですが、正直な気持ちを教えて下さい。

藤原：1年前のことを考えると「自分もここで演奏したんだな」という思いと、コンクールに出たとき、自分がまさか1年後に立っているとは思わなかったんですけども、頑張ったら頑張つ

た分だけ報われるんだな」と、目標を持って夢を持って「夢は絶対かなう」ということを改めて感じさせられた仕事でしたね。幸せですしお嬉しい(笑)。

●夢のスタートラインに1年の時間をおいて立つことで感慨もひとしお?

藤原：幸せですね!

●この後(インタビュー後)は声楽部門の本選ということで、声楽と金管、ジャンルは違いますが、同じ音楽家としてこれから本選に臨む4人の出場者へ先輩として一言お願いします。

藤原：短いリハーサル時間の中でオーケストラのたくさんの演奏家とのアンサンブルをすることが大切ですし、オーケストラと自分と、自分よくなりになるのではなくて、よくお互いの主張なり思いなりを尊重しあって、音楽と一緒に作り上げていくことが1番大切だと思いましたし、その中で自分の持ち味とか個性とかを存分に發揮したらきっとオーケストラのみんなが応えてくれると思うので、安心しながら自分の音楽をぶつけたら良いんじゃないかなと思います。

●来年は第8回のコンクールになりますが、金管部門があります。金管奏者の先輩として、金管部門にチャレンジしようと思っている後輩たちに何かメッセージがあればお願ひします。

藤原：このコンクールは、1次のMD審査、2次のソロがあり、本選のオケと、音楽家として必要な演奏状況が全て備わっているコンクールだと思います。そのときそのときに学んだことを積み上げていって、学んだことを活かせられるようにする事が大事だと思います。そして、自分が学ぼうとする目標と意志を持っていれば必ず良い結果が来るんじゃないかなと思います。経験をすることが大切です。

●最後に、毎日オーケストラの中で演奏をしていて、オーケストラの仕事、オーケストラでの音楽、楽しいですか。

藤原：もう、楽しそうです(笑)。やはり幸せを感じますし、聴衆の皆様がいらっしゃるからこそ頑張れると思いますし、自分も聴衆の皆様や団員に愛されているなと思いながら日々、音楽が出来るので、自分ももっともっと「愛」を伝えていく音楽家になれれば、と思います。

このコンクールでは、入賞後に充実した入賞者支援を行っています。東京文化会館主催「モーニングコンサート」や都内区市町村共催「フレッシュ名曲コンサート」など、数々のコンサートに出演の機会が提供されます。その中でも、優勝者だけに与えられた特典が、「優勝者コンサート」。本選から半年、成長した彼らの実力や魅力を再確認することができます。本選を聴き逃した方も是非、ご来場ください。

第7回東京音楽コンクール優勝者コンサート

第7回東京音楽コンクール第1位入賞者のオーケストラとの共演によるコンサートです。新進アーティストによる演奏にどうぞご期待ください。

2010年2月11日(木・祝) 14:30開演(14:00開場) 会場／東京文化会館大ホール



出演・曲目

极木亜裕美(クラリネット) *木管部門第1位

ウェーバー ■ クラリネット協奏曲第1番 ハ短調 Op.73

大島亮(ヴァイオラ) *弦楽部門第1位

バルトーク ■ ヴァイオラ協奏曲(遺作)

清水理恵(ソプラノ) *声楽部門第1位

グノー ■ 歌劇「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」

ベッリーニ ■ 歌劇「夢遊病の女」より「ああ、信じられない」

ヴェルディ ■ 歌劇「ラ・トラヴィアータ」より

“ああ、そはかの人かへ花から花へ～”

加藤大樹(ピアノ) *ピアノ部門第1位

プロコフィエフ ■ ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26

指揮 ■ 梅田俊明

管弦楽 ■ 東京都交響楽団

司会 ■ 井上富美子

料金／(全席指定) 一般2,000円 都響会員1,800円

シルバー(65歳以上)・パンディキャップ

東京文化会館友の会会員／1,500円

ジュニア(18歳未満)・学生／1,000円

*都響会員割引は都響ガイドのみ取扱い。その他の各種割引チケットは、東京文化会館チケットサービスのみ取扱い(要証明書)。

*未就学児童の入場はご遠慮いただけます。

チケット発売中

《チケット取扱い》 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

都響ガイド 03-3822-0727

ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード31818]

イープラス(e+) http://eplus.jp

主催: 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)、読売新聞社、花王株式会社、東京都協賛: 株式会社コンサートサービス、サントリーホールディングス株式会社、東京ガス株式会社、東京地下鉄株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社、森平舞台機構株式会社

東京文化会館ザイバートナー・上野精養軒

助成: (社)私的録音補償基金管理協会(sarah)

協力: 新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団

H・アール・カオス×大友直人×東京シティ・フィル

東京文化会館コラボレーションコンサート

「中国の不思議な役人」
新演出・新振付 バルトーク

「瀕死の白鳥」 world premiere サン=サーンス(動物の謝肉祭より「白鳥」)

「ボレロ」 ラヴェル



大島早紀子



白河直子



大友直人

2005年、2008年のコラボレーションコンサートで大好評を博した、H・アール・カオスと大友直人＆フルオーケストラの共演が再び実現。新演出・新振付による「中国の不思議な役人」と、度重なる熱望によって実現した感動作「ボレロ」の再演、そして新作の小作品「瀕死の白鳥」を加えた贅沢なプログラム。どうぞご期待ください。

品の印象を一新させたと好評を博したリヒアルト・シュトラウスの「ダフネ」の日本初演(二期会・東京文化会館)をはじめとして、オペラやダンスオペラの演出・振付の仕事が続いている。

今回のコラボレーションコンサートでは、なんと言っても『瀕死の白鳥』の初演が期待される。サン=サーンスの同名の曲にのせた白河直子の静謐なソロで、生と死の間で浄められた肉体が一瞬一瞬をいとおしむかのように踊られる。

再演されるベラ・バルトークの『中国の不思議な役人』とラヴェルの『ボレロ』は、音楽とダンスがその魅力いっぱいに相乗的な関係で出会った記憶に残る名舞台だ。生／性と死がせめぎあい、果てしない欲望が増殖の果てに無＝死へと突き進むバルトークの陰鬱な世界。音が祝祭的に積みあがり生のエネルギーが爆発するラヴェルの名曲とともに、「身体」が象徴的なモチーフとして観る者をそれぞれの思索へといざなう。ダンスを雄弁に語らせる術を知る大島の才気溢れる振付が、音楽の真髄を引き出す大友直人の繊細にして豪胆な指揮と出会い、新たな化学反応を起こす。鶴首して待ちたい。



中国の不思議な役人

東京文化会館コラボレーションコンサート
H・アール・カオス×大友直人×東京シティ・フィル
「中国の不思議な役人」「瀕死の白鳥」「ボレロ」
新演出・新振付
world premiere

2010年1月30日(土) 17:00開演(16:30開場) 東京文化会館大ホール

【プログラム】

「中国の不思議な役人」新演出・新振付 バルトーク
「瀕死の白鳥」world premiere サン=サーンス(動物の謝肉祭より「白鳥」)
「ボレロ」 ラヴェル

【構成・演出・振付】

大島早紀子

【舞 踊】

白河直子
木戸紫乃、小林史佳、斎木香里、
泉水利枝、池成愛、野村真弓

【指 挥】

大友直人

【管弦楽】

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

【スタッフ】

美術作品提供(ボレロ)／島田清徳
美術／H・アール・カオス
照明／足立恒
舞台監督／北條孝
衣装／朝月真次郎(ボレロ)
宮本真倫(中国の不思議な役人)

【料金】

S席 7,000円 A席 5,000円 B席 3,000円 Ex席 1,000円

東京文化会館友の会割引 S席 5,600円 A席 4,000円 B席 2,400円

【チケット問合せ】

東京文化会館チケットサービス : 03-5685-0650
チケットぴあ : 0570-02-9999 [Pコード:399-445]
ローソンチケット : 0570-084-003 [Lコード:31819]
0570-000-407(オペレーター対応 / 10:00~20:00)
e+(イープラス) : <http://eplus.jp/>

H・アール・カオス : <http://h-art-chaos.com>

※割引の取扱は、東京文化会館チケットサービスのみとなります。

※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。

託児サービス(要予約・有料・1月22日締切)があります。マザーズ:0120-788-222

【主 催】 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)

【協 賛】 財団法人 東京二期会

【協 力】 有限会社東京アートファクトリー

【問合せ】 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111

圧倒的な感動と衝撃で話題を呼んだ奇跡の公演!

文:立木輝子

アクロバティックに舞う身体。劇的な緊迫感。コンテンポラリーダンスの最前線をリードする大島早紀子のダンスは、卓抜な発想で身体を重力から解き放ち、コスミックな空間性を呈示する。ワイヤーを駆使したダンスは、飛翔する身体の見事さばかりではなく、表現の彼方に遙かな思索の広がりを感じさせて魅了される。現代と鋭く共振する社会的なテーマや哲学的な思考が独特のダイナミズム溢れるダンスに変換されており、他に類を見ない。“ケレン”ととられかねないワイヤーによる動きは表現のテクニックとして極められ、耽美的な美意識で昇華された振付は、凛とした気品を放っている。

代表作の「春の祭典」(1996)では、犠牲というテーマを現代における女性への暴力—身体的のみならず“視線”的暴力として読み直し、社会的な主題として追及した。数年前に大友直人指揮で100人のオーケストラを擁して上演された舞台(愛知

芸術劇場)は圧巻であった。

カンパニーネは、天的な陶酔—H、芸術—アール、混沌—カオスを意味し、その名の通り、総合芸術としてそれらの要素が溶け合い、猥雑なエネルギーを反転させて生命の本質に迫る表現を目指している。耽美的な混沌(カオス)にその鍵が潜む。

現代への鋭い批評性を秘めた大島のスリリングなダンスを支えるのが女性ばかりからなるH・アール・カオスの面々である。とりわけ、その中心ダンサー、たぐい稀な身体性を誇る白河直子は注目に値する。しなやかにして強靭。性差を超えた官能性を感じさせる白河のダンスは、烈しくも美しい。存在の全てをかけるかのような張り詰めた舞台は、大島の思考を純化し、的確に視覚化する。

大島早紀子は、最近では音楽との緊密なコラボレーションの下に表現が芸術的にますます深化されてきており、頗もしい。作

INFORMATION

東京文化会館《響の森》vol.27 ニューイヤーコンサート2010

アーバーサリー作曲家の名曲とウンターワルツで祝うお正月
オーケストラの聴き初めは「クラシックの殿堂」東京文化会館で
1月3日(日) 15:00開演(14:20開場)

■会場 大ホール

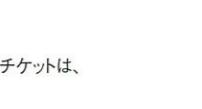
- 出演 指揮●大友直人
ピアノ●小山実稚恵
管弦楽●東京都交響楽団
- 曲目 ヨハン・シュトラウス2世「春の声」 op.410
ショパン「ピアノ協奏曲第1番」ホ短調 op.11
チャイコフスキイ「交響曲第5番」ホ短調 op.64
- 料金 S席6,000円 A席4,000円 B席2,000円
12/25(金)都響「第九」とのセット券
S席4,800円 A席3,200円(200組限定)
東京文化会館友の会会員
S席4,800円 A席3,200円
都響会員 S席5,400円 A席3,600円
ジュニア(18歳未満)・学生
S席3,000円 A席2,000円(200席限定)
シルバー(65歳以上) S席5,400円(200席限定)
ハンディキャップ(1~3級)
S席3,000円 A席2,000円 B席1,000円
(4~5級)
S席4,800円 A席3,200円 B席1,600円
(介添え1名まで同一料金)



大友直人
©Kaburagi-amana group



小山実稚恵
©Katsuo Sakayori



北村朋幹
©Katsuo Sakayori

チケット発売中
※都響会員割引は都響ガイドのみ取扱い。その他の各種割引チケットは、
東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。
※託児サービス(要予約・有料・12/25(金)締切)があります。
(株)マザーズ0120-788-222

- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)
- 協力 東京都交響楽団
- 東京文化会館ザ・イヤーパートナー:上野精養軒
- 制作 東京文化会館事業企画課

チケット取扱い TS 都響 オンライン e+

ティータイムコンサート

2月12日(金) 13:00~

■会場 大ホールロビー

- 料金 無料
- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)
東京都交響楽団



井上道義
©BenjaminLee

東京文化会館モーニングコンサート

500円で楽しむ、朝の一時間コンサート。
11:00-12:00(10:30開場)

- 料金 全席自由500円(一回券)チケット発売中
- 協賛 上野中央通り商店会

■会場 小ホール

Vol.33 1月5日(火)

- 出演 ピアノ●北村 朋幹
※第3回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および審査員大賞
- 曲目 ヘンデル「ハープシコード組曲 第1巻より 第5番
ホ長調 HWV.430「調子の良い鍛冶屋」
クープラン「クラヴサン曲集より」ほか



北村朋幹

Vol.34 2月17日(水)

- 出演 ヴァイオリン●泉 沙織
※第6回東京音楽コンクール弦楽部門第1位
ピアノ●森 夕希子
- 曲目 ブラームス「ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調
Op.100
ドビュッシー「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ」ほか



泉沙織

Vol.35 3月10日(水)

- 出演 クラリネット●吉田 誠
※第5回東京音楽コンクール木管部門第1位および聴衆賞
ピアノ●阿部加奈子
- 曲目 サン=サーンス「クラリネットソナタ 変ホ長調
ヴェルディ(ローレーリョ編)」「椿姫」の旋律による演奏会用幻想曲 ほか



吉田誠

チケット取扱い TS 都響 オンライン e+

東京文化会館公開リハーサル

1月20日(水) 11:30開始

■会場 大ホール

- 出演 指揮●井上道義
管弦楽●東京都交響楽団

- 曲目 ※演奏曲目及び演奏部分は未定です。
※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。
- 料金 無料

- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)
東京都交響楽団

- 事前申込制(12月20日消印有効、抽選で700名)
※必ず往復ハガキでご応募ください。

往復ハガキ記入方法

往信・表 〒110-8716東京文化会館事業企画課「公開リハーサル・音脈」係
往信・裏 「公開リハーサル」郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・
希望人数(1名もしくは2名)

返信・表 郵便番号・住所・氏名

返信・裏 何も書かないでください



井上道義
©BenjaminLee

レクチャーコンサート2009-2010シーズン 「作曲家の挑戦」シリーズ(全5回)

小ホール649席の贅沢な空間で、第一線で活躍する旬のアーティストによるレクチャーコンサートを楽しむ、年間5回のコンサートシリーズ

- 料金 S席3,800円 A席2,800円 B席1,000円 ※各種割引あり
チケット発売日/第4回発売中(B席完売)

第5回12月13日(日)一般発売
※12月6日(日)東京文化会館友の会先行発売

■会場 小ホール

第4回「形式からの飛翔」 1月15日(金) 19:00開演(18:30開場)

- 出演 ナビゲーター&ヴァイオリン●堀米ゆず子
ピアノ●津田裕也

- 曲目 ブラームス「F.A.E.ソナタより“スケルツォ”」ホ短調
ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調Op.108
J.S.バッハ「半音階の幻想曲とフーガ」
ニ短調BWV903
無伴奏パルティータ第2番 ニ短調
BWV1004より“シャコンヌ”



堀米ゆず子
©影田正道



津田裕也
©武藤章

第5回「無伴奏チェロの探訪」 3月5日(金) 19:00開演(18:30開場)

- 出演 ナビゲーター&チェロ●堤 刚

- 曲目 J.S.バッハ「無伴奏チェロ組曲第6番
ニ長調BWV1012
レーガー「無伴奏チェロ組曲第2番 ニ短調Op.131c
コダ一「無伴奏チェロ・ソナタOp.8



堤 刚
©K.Miura

チケット取扱い TS 都響 オンライン e+

創遊・楽落らいふ Vol.11 —音楽家と落語家のコラボレーション—

2月5日(金) 11:00-12:00(10:30開場)

■会場 小ホール

- 出演 落語●三遊亭遊雀 フルート●中瀬香寿子 ほか

- 第1部 ミニコンサート

- 第2部 落語と音楽のコラボレーション「堪忍袋」

- 料金 全席自由 500円 チケット発売日/12月4日(金)

- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)

- 共催 社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸團協)

- 共催 社団法人落語芸術協会・日本音楽家ユニオン



三遊亭遊雀

チケット取扱い TS

◎チケットのお申込みは下記へ

- TICKET SERVICE
 - TS 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
 - チケットぴあ 0570-02-9999
 - イープラス http://eplus.jp/
 - ローソンチケット/クラシック・演劇専用回線 0570-000-407
 - 都響ガイド 03-3828-0727

※各種割引・東京文化会館友の会のチケット取り扱いは、東京文化会館チケットサービスのみとなります。

第7回東京音楽コンクール優勝者コンサート

第7回東京音楽コンクール第1位入賞者のオーケストラとの共演によるコンサートです。
新進アーティストによる演奏にどうぞ期待ください。

2月11日(木・祝) 14:30開演(14:00開場)

■会場 大ホール

- 出演 クラリネット●板木亞裕美 *木管部門第1位
ヴィオラ●大島亮 *弦楽部門第1位



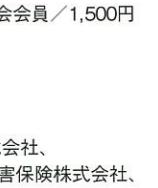
板木亞裕美

- ソプラノ●清水理恵 *声楽部門第1位
ピアノ●加藤大樹 *ピアノ部門第1位



井上富美子

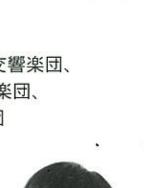
- 指揮●梅田俊明
管弦楽●東京都交響楽団



梅田俊明

- 司会●井上富美子

- ウェーバー「クラリネット協奏曲第1番」ヘ短調 Op.73



井上富美子

- バルトーク「ヴィオラ協奏曲(遺作)」



梅田俊明

- グノー「歌劇「ロメオとジュリエット」より“私は夢に生きたい”



清水理恵

- ベッリーニ「歌劇「夢遊病の女」より“ああ、信じられない”



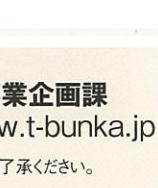
加藤大樹

- ヴェルディ「歌劇「ラトヴァイアータ」より“ああ、そはかの人かへ花から花へ～”



板木亞裕美

- プロコフィエフ「ピアノ協奏曲第3番」ハ長調 Op.26



井上富美子

- 料金 全席指定2,000円 都響会員/1,800円
シルバー(65歳以上)・ハンディキャップ・東京文化会館友の会会員/1,500円
ジュニア(18歳未満)・学生/1,000円

- 主催 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)、
読売新聞社、花王株式会社、東京都

- 協賛 株式会社コンサートサービス、
東京ガス株式会社、東京地下鉄株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社、
森平舞台機構株式会社

- 助成 (社)私の録音補償金管理協会(sarah)

- 協力 新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、
東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、
読売日本交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

創設から東京文化会館と共に歩んできた東京都交響楽団。その経歴を経た歴史を、チーフ・プロデューサーの守屋新氏に振り返っていただきました。

東京文化会館開館50周年と東京都交響楽団の45周年の歩みによせて

◆はじめに

2011年には東京文化会館の開館50周年と、来年都響45周年の節目を迎えて、ホールとオーケストラの歩みに思いを興し、ここに綴ってみる事にしました。

東京都は開都500年を記念して1961年に東京文化会館を建設、その後の1965年東京オリンピックの記念文化事業として都響を創設しました。私はその設立後4年目にチェロ奏者として入団しましたが、東京オリンピックの文化記念事業として東京都が設立したオーケストラが設立の翌年にはもう楽団存続の危機に直面「折角作っておきながら…」と夢を膨らませていたところで政争の具となってしまいそうになりがっかりしていました。幸いにも私の大卒の年から再び増員をすることとなり、かろうじて入団させていただきました。楽団創立以来、都響は今日に至るまで、東京文化会館を主たる演奏会場としての使用だけではなく、オーケストラの本拠地としての施設を提供していただいている。

◆都内での音楽ホール事情が一変

東京文化会館が開館されるまでは日比谷公会堂か、新宿にある厚生年金会館、また元の文京公会堂などがオーケストラのメインホールだったように記憶しています。今のようにプロ・オーケストラの数も多くのなかった時代ですが、それでもオーケストラ演奏会場として、またオペラ・バレエの劇場として、東京文化会館は関係者の間では待望久しいホール建設でした。

本格的なオペラ上演の為の機能も備え、さらにオーケストラなどのコンサートホールとしての東京文化会館は当時一学生だった私にも、東京に漸くしかも上野(当時の上野のイメージは悪く)に本格的な音楽の殿堂ホールが出来ると、衝撃的に伝わってきた事を思い出します。貧乏学生の私にとって、東京文化会館大ホールのようなコンサート会場で聴く一流の演奏会は、まだまだ先の夢のような出来事に思えました。開館後は都内各所で行われていたオペラ・バレエ・オーケストラ公演の殆どが、新しく出来た文化会館に場所を移して演奏されてくる状態に変貌していきました。

◆都響の創設

東京都は「都響の本拠地を上野の東京文化会館内に」との考え方でリハーサルは地下のAリハーサル室を共用、それまで会館の展示ルーム(アトリエ)として使用していたところを都響の専用スペースとして事務局と楽員室に利用し、楽譜庫は事務局内に、また楽器庫は地下の一室を提供していただきました。

Aリハーサル室で行う練習は狭い、暗い、外の音が聞こえる、換気が悪い等など不満がいっぱいでした。それでも当時は他の民間オーケストラ並みか、それよりまだ恵まれているようでした。

オーケストラにとってホールは楽器です。毎日のリハーサルで磨くサウンドとホールのステージで鳴らすサウンドの格差はプレイヤーたちの大きなストレスになりました。

やがて、楽団員も増えて(創立時57名が5年後は80名に)、演奏曲目も大編成のものを取り上げる時期になり、いよいよAリハーサル室では練習にならないとの決断の時期を迎えました。

◆会館の小ホールのステージをリハーサルに使用

小ホールのステージを客席フロアまで下げて、指揮者はステージ正面奥に、弦楽器群がステージ面に陣取り、木管楽器群と金管楽器群は客席の列の間に専用の高い椅子をセット、そして打楽器群が中央の通路

に配置されるというような形で練習していました。

充分に空間は確保されたものの音響面での戸惑いは想像以上でした。夜には小ホールとしての本来の室内楽コンサート会場に戻さなければならず、毎日早朝からセットして、リハーサル後は直ちに撤去。スタッフの苦労も言い尽くせないほどのものだったようです。

◆やがてリハーサル場を外部東京都関連施設に

都響は小ホールの便宜使用に限界を迎えてきました。楽団員の人数も100人を越すメジャー・オーケストラの体裁を整えてきており、都内各地の区民会館などのステージでリハーサルを行うようになってきました。

同時に、楽団は専用のリハーサル場を東京都に要望しており、一時期、都響のリハーサルにも使えるように都立の芸術高校のホールを改造して利用していました。しかし、その施設も学校の施設であり、授業とりハーサルスケジュールが度重なり、折角都響の為にお金をかけて改築したホールも使えなくなりました。

再び各地のホールを転々とする日々が続き、いよいよ自前の練習施設を持つことが急務となっていました。各地のホール使用料にかかる費用だけでもかなりの支出、その上、日々の移動に伴う楽器の傷みや維持管理の費用も加わると莫大な費用の支出が増大しました。

ひとつの公演に3日間のリハーサル、本番を含めると4日間毎日会場を転々とすることも多く、専用の練習施設獲得は切実でした。当然、プレイヤーも指揮者も音作りで苦労と苦心の連続だったといえます。

いまでもなく、指揮者や演奏家に、そしてオーケストラ愛好家にとっても、本番会場でリハーサルが出来たらと願っています。そうなればリハーサル時間の短縮、楽器の維持管理費用、ホール借用料などの費用と時間がはるかに軽減されるはずです。そこで創り出される固有のサウンドこそ、他のどのオーケストラでもない都響サウンドを堪能できるはず、との強い信念と願望があります。

しかし、緊急課題としては専用かそれに近い運用が可能な施設の獲得でした。

◆会館内に新たな練習場施設の建設

私たちの願いが東京都に届いて、また、別途新リハーサル棟の建設を要望していた東京文化会館の希望もかなえる形で、1984年東京文化会館に建設の為の予算をつけて会館敷地内(といつても隣接する土地の地下に)新リハーサル棟の建設がきました。そして、待望のリハーサル棟が完成。

ただ、この経緯から新たに出来たリハーサル棟は東京文化会館の管理下、私たちの専用施設ではなく、リハーサル棟の利用が始まるとき、さまざまな問題が浮上してきました。計画段階では充分と思われた空間も100人を超すメンバーが大曲のマーラーなどのリハーサルにはスペース的にまだまだ不十分で、特に合唱付の大曲などでは現在もやはり他のホールを借りることもしばしばです。

しかし、とにかく楽譜も楽器も同じフロアに、更には個人練習やアンサンブルの為にも利用可能になって音作りの困難さ以外の不便さは解消されました。

そして、現在ではリハーサル棟の使用も限りなく専用的に利用できるようになりました。

◆大阪に統いて東京にも世界に誇るコンサート専用ホール

世界に誇る国内で初の本格的なコンサート専用ホールが大阪に建設され、数年遅れて東京の真ん中にサントリーホールが建設されました。

これがきっかけなのか判りませんが自治体が本格的なコンサート専用ホールやオペラなどの舞台芸術専門の施設の建設に方針転換を考え始めてきました。

1990年、東京都も都民の要望に応える形で池袋に総合文化施設を建設しました。コンサート専用の大ホールと、演劇・オペラ・バレエなどに使用される中ホール、小ホール、リハーサル用の施設、また大会議室からいくつかの小会議室や展示室もセットされた、総合的な文化施設「東京芸術劇場」を開館しました。当時は全国的にいわゆる多目的な市民会館が主流でしたから「いよいよ日本も欧米並みになってきたな」と実感したものです。

ただ残念だったことは、東京都がコンサート専用ホールを建設しても、そこに同じ東京都のソフト(都響)を、という発想には至らなかったことです。ハードとソフトが一体となった、いわばオーケストラにとって理想形にはなりませんでした。

◆オーケストラの活動拠点

大小様々な困難はあるものの、東京都と都民、そして多くの愛好家に支えられてきた都響です。常にこの音楽の殿堂ホールと共に歩んできることは間違ひありません。「東京文化会館にサポートされて都民のオーケストラとして45年間共に歩んできたな」と実感しています。

都響は主催公演以外にも、東京文化会館の主催による「響の森」コンサートをはじめ、夏の「夏休み子ども音楽会」、他ジャンルのアーティストとのコラボレーション等、数多くのステージを活用させていただきました。

活動拠点があるというだけでも誇りに思わなければならない日本の現状ではありますが、首都を代表するホール(ハード)とオーケストラ(ソフト)の両関係者が将来を見つめつつ改革して、日々の問題にも改善を図っていかなければなりません。

◆劇場型コンサートホールの功罪

都内にはプロのオーケストラが10団体、オペラ団体も数団体が常時活動しています。さらには外からのオペラ・バレエ・オーケストラ等のコンサートが数え切れないほど公演を行い、東京はまさに世界一コンサートの数が多い都市です。しかも超一流の個人、団体による公演が都内各所のホールで連日連夜繰り広げられている現状です。

そして、都内にオペラ・バレエの専門ホールとして新国立劇場や他に



1969年1月5日 第24回都民コンサート

もオペラ・バレエも可能なホールが活動しています。コンサート専用ホールもサントリーホールや池袋の東京芸術劇場大ホール、ほかにも人気のあるホールが活動しています。

東京文化会館も根強い人気に支えられて、これから先もオペラ・バレエそしてオーケストラなどの演奏会場として連日稼働していくことでしょう。

首都圏の音楽ファンの多様な要望に応えるにはまだまだホールの数も必要かもしれません。50年の歴史が刻まれた東京文化会館への需要と期待はますます膨らみます。

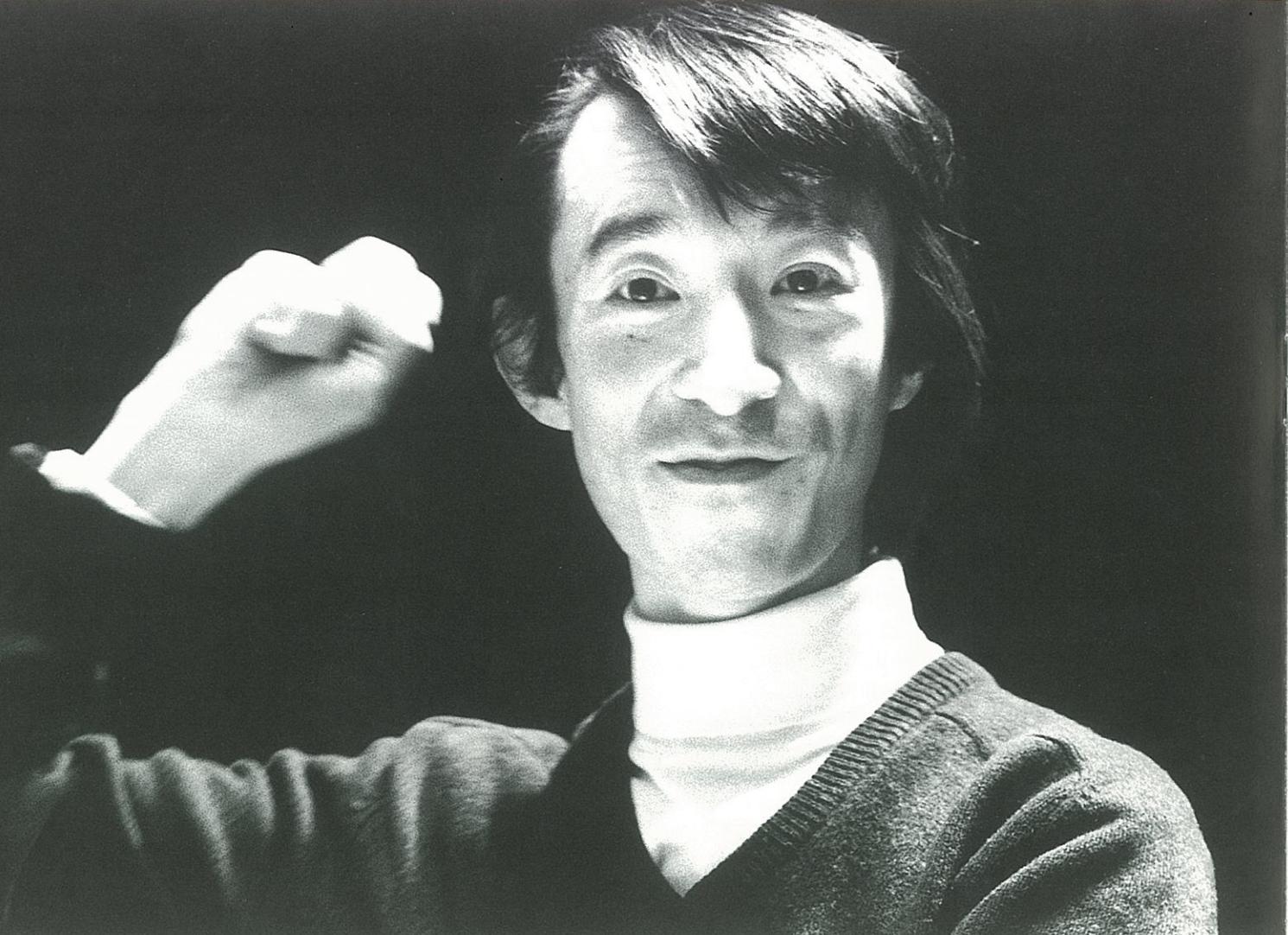
しかし、私は多くの方が指摘するように、多目的性格を有するが為に起っている東京文化会館ならではの困難さも日々痛感しています。

東京都が創設したハード(上野の東京文化会館、池袋の東京芸術劇場)とソフト(東京都交響楽団)が、実質的に一体となった最高の舞台芸術を提供していくことが私たちに今求められているのではないでしょうか。

東京都交響楽団チーフ・プロデューサー 守屋 新

守屋 新 Shin Moriya

1944年 岡山市 生まれ
1965年 国立音楽大学入学 器楽学部 チェロ専攻
1968年 国立音楽大学卒業
東京都交響楽団にチェロ奏者として入団
2001年 同楽団事務局演奏事業部に勤務
2006年 同楽団 プロデューサーに就任
2008年 同楽団 チーフ・プロデューサーに就任、現在に至る



若杉弘 1974.2.25 東京文化会館（読売日本交響楽団第100回記念定期公演リハーサルより）

©Akira KINOSHITA

博識家・若杉弘

若 杉弘氏が亡くなられた。74歳だった。指揮者としては、これから円熟期に入って行く年齢なので、本人が一番口惜しい気持であったと思う。

私が若杉を最初に撮影したのは74年2月25日、東京文化会館での読売日響第100回記念定期演奏会だった。プログラムはベルリオーズの大作オペラ『トロイアの人々』の第2部『カルタゴのトロイ人』の日本初演で、キャストはトロイの英雄アエニアスが丹羽勝海、女王が長野羊奈子、あと戸田敏子、小池容子、三林輝夫など。このオペラは全体で4時間半もかかるため、ベルリオーズの生前には全曲が演奏されることなく、没後10年目にやっと初演されたといいわくつきのオペラで、日本初演は115年目であった。この時、若杉は第2部だけを採り上げ、演奏会形式で日本に初めて紹介したのである。

若杉は日本の指揮者の中では、ずば抜けた博識家で、特にヨーロッパの未知の大作を日本に紹介することに努力を傾けていた。この演奏会も、そうした意欲の表れであった。

当日、私はリハーサルからカメラを構えていた。その時、若杉は38歳の若さ。読売日響常任指揮者に抜擢されて2年目の新しい時代を拓いて行く期待を抱く人の感じで、本人もこの大作の初演に意気が昂揚していた。彼は生来、痩身の体型で、指揮姿はあたかもピノキオ

を想わすところがあつて、"ピノさん"と愛称。スマートな指揮ぶりには芯の強いエネルギーが充満していた。

その後、彼は77年にケルン放送響の首席指揮者に就任。拠点を海外に移した。私は79年にケルンとデュッセルドルフで、彼の活躍ぶりを取材した。

そのケルン時代、彼が提示した年間プログラムがユニークで話題を呼んでいた。初年度が「新ウイーン楽派を顧みて」と題して、シェーンベルク、ベルク、ウェーベルンとブラームス、ベートーヴェン、モーツアルトを対比させ、2年目は「音楽における印象派?」とは何かと、ドビュッシー、ラヴェル、プーランクなどを美学的見地から捉え、3年目は「ストラヴィンスキイとは誰れ?」と、一人の作曲家を作曲技法上から探求。まさに博識家若杉の面目躍如たるひと味違う視点が大きく評価されていた。

そして81年にはデュッセルドルフのライン・ドイツ・オペラ音楽総監督に就任。日本人指揮者として初めてヨーロッパのオペラハウスの総監督の座に就く歴史的な快挙を為した。

85年からは東京都響の音楽監督に就任して、この東京文化会館に多くの足跡を残した。私は当時、東京都響の撮影を担当していたので、若杉を撮影する機会も多く、往々を懐かしく思っている。

木之下 晃／写真・文

創立45周年を迎える東京都交響楽団

現在、東京文化会館大ホールで定期演奏会を行っているオーケストラは東京都交響楽団のみとなっています。その東京都交響楽団(都響)が2010年、創立45周年を迎えます。

都響は1965年に東京オリンピックの記念文化事業の一環として設立、都民の日である10月1日に披露演奏会が東京文化会館で行われました。曲目はモーツアルト・歌劇「魔笛」序曲(大町陽一郎指揮)と交響曲第41番「ジュピター」(ハインツ・ホフマン指揮)、ヒンデミット「気高き幻想」(ホフマン指揮)でした。

都響をリードする常任指揮者や音楽監督等に就任したのは、ハインツ・ホフマン、森正、渡邊暁雄、モーシ・アツモン、ズデニエック・コシュラー、ペーター・マーク、ジャン・フルネ、若杉弘、ガリー・ペルティニ、ジェイムズ・デプリースト。現在はエリアフ・インバル(プリンシパル・コンダクター)、小泉和裕(レジデント・コンダクター)が就任しています。

名匠ジャン・フルネと都響のパートナーシップは45年の歴史の中でもハイライトの一つとして挙げられるでしょう。1978年1月の初共演以来毎年のように共演し、1989年には名誉指揮者に就任。特筆すべきは、彼の引退公演のパートナーに都響を選んだことでしょう。この時フルネは92歳でした。「ジャン・フルネラストコンサート」と題された2005年12月21日の第619回定期演奏会、会場は東京文化会館でした。フルネは2008年11月に95歳で亡くなり、都響は永久名誉指揮者の称号を贈りました。また、東京文化会館で行われる定期演奏会に「マエストロ=フルネ・シート」と題し音楽専攻学生を対象に、無料鑑賞者を募集しています(詳しくは都響のホームページをご覧ください)。

2010年度に東京文化会館で行われる定期演奏会のラインナップは21頁の「都響ニュースVol.14」をご覧ください。エリアフ・インバルが3回登場し、マーラーやブルックナーを演奏します。また、サントリー

ホールで行われる定期演奏会Bシリーズでは、5月に大野和士が登場します。現在フランス国立リヨン歌劇場の首席指揮者を務め、世界各国のオペラハウスやオーケストラに客演している彼の公開コンサートデビューは1983年、都響との共演でした。近年では、2006年7月と2008年9月に共演しています。

そして、2010年1月より創立45周年記念企画が始まります。小ホールでは室内楽シリーズ「都響メンバーによる室内楽トークコンサート」がスタート。名手揃いの都響メンバーによる、様々な編成による室内楽を解説付きでお楽しみいただけます。都響設立時、リハーサルを小ホールで行ったこともありましたが(10~11頁の「東京文化会館開館50周年に向けて」の守屋都響チーフ・プロデューサーの記事もご参照ください)、演奏会のシリーズを始めるのはこれが初めてになります。

記念すべき第1回(Vol.1)は1月17日(日)に開催。「木管アンサンブルの楽しみ」と題し、木管の首席メンバーを中心に、モーツアルトとグノーを演奏します。Vol.2は3月19日(金)。三浦友理枝(ピアノ)をゲストに招き、「弦楽アンサンブルの楽しみ」と題し、メンデルスゾーン、ベートーヴェンの弦楽四重奏とシューマンのピアノ五重奏曲を演奏します。そして、2010年度は4回の演奏会が予定されています。

オーケストラが室内楽を主催公演で行うことは、世界的にはよくあることですが、日本のオーケストラで行うのは珍しいことです。室内楽シリーズの開始により、都響の魅力の新しい一面が見えてくるのではないかでしょうか。

また、創立45周年特別企画として、「カジュアルコンサート」を開催します。第1回は1月8日(金)、18時開演で会場は東京芸術劇場、約70分の公演です(休憩はありません)。今後、東京文化会館大ホールでも公演が予定されています。

都響創立45周年特別企画 都響メンバーによる室内楽トークコンサート

- Vol.1《木管アンサンブルの楽しみ》
- 日時／1月17日(日) 14:00開演(13:20開場)

- 出演 フルート／柳原佑介
オーボエ／広田智之、大植圭太郎
クラリネット／三界秀実、野田祐介*
バセットホルン／伊藤圭、齋藤雄介*
- 曲目 モーツアルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲
グノー／9つの管楽器のための小交響曲 変ロ長調
モーツアルト／13管楽器のためのセレナード第10番 変ロ長調 K.361
「グラン・パルティータ」

- Vol.2《弦楽アンサンブルの楽しみ》
- 日時／3月19日(金) 19:00開演(18:20開場)

- 出演 ヴァイオリン／吉岡麻貴子、横山和加子
ヴィオラ／小林明子
チェロ／長谷部一郎
ピアノ／三浦友理枝*
- 曲目 メンデルスゾーン／弦楽四重奏のための4つの小品 op.81からアンダンテ
ベートーヴェン／弦楽四重奏曲第7番へ長調 op.59-1
「ラズモフスキイ第1番」
シューマン／ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

●チケット(2公演共通) 一回券／S¥4,000 A¥3,000
Vol.1+Vol.2セット券／各席上記金額の20%OFF
シルバーエイジ割引(65歳以上／各席10%OFF)
ジュニア(18歳未満)・学生割引／各席20%OFF
都響ガイド、東京文化会館チケットサービス他で発売中

*特別出演

主催／財団法人東京都交響楽団 後援／東京都、東京都教育委員会

1月 大ホール

1~3月の催し物案内

最新の催し物日程は当会館ホームページをご覧ください。<http://www.t-bunka.jp>

3日(日) 東京文化会館《響の森》vol.27 「ニューイヤーコンサート2010」

15:00

- 大友直人(指揮) 小山実稚恵(Pf) 東京都交響楽団
- ヨハン・シュトラウスⅡ世:春の声 op.410
- ショパン:ピアノ協奏曲第1番 小短調 op.11
- チャイコフスキイ:交響曲第5番 小短調 op.64
- S6,000 A4,000 B2,000 (※詳細は8ページをご覧下さい)
- 東京文化会館事業企画課
- 03-3828-2111 <http://www.t-bunka.jp>



©Kaburagi-amegawgroup

7日(木) 第184回「宇宿允人の世界」ニューイヤーコンサート

19:00

- 宇宿允人(指揮) フロイデフィルハーモニー
- ワーグナー:歌劇「ターホイサー」序曲
- チャイコフスキイ:バレエ組曲「白鳥の湖」op.20より抜粋
- ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」小短調 op.67
- S7,000 A5,000 B4,000 C(自由)3,000 ※自由席はC席のみ
- D1,500 学生全席2,000(25歳以下)
- 東京芸術音楽協会
- 03-3333-7278 <http://www.usuki-world.com>



©平野受智

8日(金) ベルガモ・ドニゼッティ劇場 「椿姫」(ウェルディ作曲・全3幕・字幕付原語(イタリア語)上演)

18:30 13日(水) 18:30

- ブルー・チングエグラー(指揮)
- ベルガモ・ドニゼッティ劇場管弦楽団・合唱団
- ヴィオレッタ:マリエッラ・デヴィア
- アルフレード:アントニオ・ガンディア
- ジェルモン:ルカ・サルシ
- バオロ・パニツツア(演出)
- S29,000 A24,000 B19,000 C14,000 D10,000
- 学生7,000(25歳以下)
- コンサートドアーズ 03-5217-6333
- <http://www.concertdoors.com>



マリエッラ・デヴィア

【クラブ・ツーリズム貸切公演】
13日(水) 13:00

- ブルー・チングエグラー(指揮)
- ベルガモ・ドニゼッティ劇場管弦楽団・合唱団
- ※キャストは当日発表です。
- バオロ・パニツツア(演出)
- S19,000 A16,000 B13,000 C10,000 D8,000
- Sペア36,000 Sトリップ54,000 Sグループ(4枚)71,000
- クラブ・ツーリズム 03-5323-6950 <http://www.club-t.com>



アントニオ・ガンディア

「愛の妙薬」(ドニゼッティ作曲・全2幕・字幕付原語(イタリア語)上演)

9日(土) 17:00 11日(月・祝) 15:00

- ステファノ・モンタナーリ(指揮)
- ベルガモ・ドニゼッティ劇場管弦楽団・合唱団
- アディーナ:デジレ・ランカトーレ
- ネモリーノ:ロベルト・イウリーアーノ
- ベルコーレ:マリオ・カッソ/オナルド・ガレアッティ
- ドゥルカマーラ:マッテオ・ペイローネ/フィリッポ・モラーチェ
- フランチェスコ・ペロット(演出)
- S29,000 A24,000 B19,000 C14,000 D10,000 学生7,000(25歳以下)
- コンサートドアーズ 03-5217-6333 <http://www.concertdoors.com>



デジレ・ランカトーレ

【都民劇場音楽サークル第574回定期公演】
14日(木) 18:30

- ステファノ・モンタナーリ(指揮)
- ベルガモ・ドニゼッティ劇場管弦楽団・合唱団
- アルフレード:アントニオ・ガンディア
- ネモリーノ:ロベルト・イウリーアーノ
- フランチェスコ・ペロット(演出)
- S28,000 A23,000 B18,000 C13,000
- (財)都民劇場 03-3572-4311
- <http://www.tomin-gekijo.or.jp>



ロベルト・イウリーアーノ

10日(日) 平成21年度 東京都高等学校文化祭音楽部門中央大会

10:00

- 東京都高等学校文化連盟加盟校 各地区代表
- 各地区演奏団体によるプログラム(吹奏楽・合唱・管弦楽)
- 入場無料
- 東京都高等学校文化連盟事務局(古澤) 080-7029-1997
- <http://tokoubunrenongakubumon.web.fc2.com>



栗原利佳

17日(日) 15:00

東京バレエ団創立45周年記念公演IX
「ラ・シルフィード」全2幕

19日(火) 18:30

- 井田勝大(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団
- シルフィード:上野水香
- ジェイムズ:レオニード・サラファーノフ(マリインスキー・バレエ)
- ビエール・ラコット(振付/フィリップ・タリオーニ原案による)
- S10,000 A8,000 B6,000 C5,000 D4,000 E3,000
- エコノミー2,000 学生1,500
- Sペア19,000 Aペア15,000 Bペア11,000
- 親子ペア券
- 親子Sペア15,000 親子Aペア12,000 親子Bペア9,000
- NBSチケットセンター 03-3791-8888 <http://www.nbs.or.jp>



上野水香



レオニード・サラファーノフ

マイ・キャストシリーズ[2]
18日(月) 18:30

- 井田勝大(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団
- シルフィード:高木 緹
- ジェイムズ:柄本 弾
- ビエール・ラコット(振付/フィリップ・タリオーニ原案による)
- S7,000 A5,000 B4,000 C(自由)3,000 ※自由席はC席のみ
- D1,500 学生全席2,000(25歳以下)
- 東京芸術音楽協会
- 03-3333-7278 <http://www.usuki-world.com>



ラ・シルフィード

20日(水) 東京文化会館公開リハーサル

- 井上道義(指揮) 東京都交響楽団
- 未定
- 入場無料(往復ハガキで申込、12月20日消印有効※詳細は8ページをご覧下さい)
- 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111 <http://www.t-bunka.jp>



井上道義

21日(木) 東京都交響楽団 第692回定期演奏会

- 井上道義(指揮) 岡田博美(Pf) 天羽明恵(Sop)
- <日本管弦楽の名曲とその源流⑨ プロデュース:別宮貞雄>
- 野田聰行:コラール交響曲 op.9
- ピアノ協奏曲
- プリテン:シンフォニア・ダ・レクイエム
- ベソル:歌劇「ルル」からの交響的小品(「ルル」組曲)
- S6,500 A5,500 B4,500 C3,500 Ex1,800
- 都響ガイド 03-3822-0727 <http://www.tmsj.or.jp>



天羽明恵

谷桃子バレエ団創立60周年記念公演
「ドン・キホーテ」

23日(土) 18:00 24日(日) 14:00

- 福田一雄(指揮) 東京ニューシー管弦楽団
- キトリ:林麻衣子(23歳)/永橋あゆみ(24歳)
- バジル:齋藤 拓(23歳)/今井智也(24歳)
- ドン・キホーテ:松竹眞也(ゲスト・両日)
- 谷桃子(再振付/M.ティピア・A.ゴルスキイ・S.メッセレルによる)
- S10,000 A8,000 B6,000 C4,000 D3,000 E2,000
- 新演劇協会 03-3561-5012
- http://www.shin-en.jp



ドン・キホーテ

東京文化会館コラボレーションコンサート
H・アール・カオス×大友直人×東京シティ・フィル
「中国の不思議な役人」「瀕死の白鳥」「ボレロ」

30日(土) 17:00

- 大友直人(指揮) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
- 白河直子
- 木戸紫乃 小林史佳 齐木香里 泉水利枝
- 池成愛 野村真弓
- 大島早紀子(構成・演出・振付)
- S7,000 A5,000 B3,000 Ex1,000
- (詳細は7ページをご覧下さい)
- 東京文化会館事業企画課 03-3828-2111 <http://www.t-bunka.jp>



大島早紀子



白河直子

小ホール

1 休館日

- 14:00 都響メンバーによる室内楽トークコンサートvol.1『木管アンサンブルの楽しみ』
- 柳原佑介(Fl) 広田智之(Obo) 三界秀実(Cl) 有馬純晴(Hr) 西條貴人(Hr) 岡本正之(Fg)
- 野田祐介(Cl) 斎藤雄介(バセットホルン) 田島小春(Hr) 濱地宗(Hr) 他
- モーツアルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲、13管楽器のためのセレナード第10番「グランパルティータ」他
- S4,000 A3,000 都響ガイド 03-3822-0727 <http://www.tmsj.or.jp>

17日(日) 19:00 モルゴア・カルテット第32回定期演奏会

- 荒井英治(Vn) 戸澤哲夫(Vn) 小野富士(Va) 藤森亮一(Vc)
- ボリス・チャイコフスキイ:弦楽四重奏曲第3番 ブリテン:弦楽四重奏曲第1番 他
- 自由4,000 学生2,000
- ミリオンコンサート協会 03-3501-5638 <http://www.millionconcert.co.jp>

19日(火) 19:00 ブラス・ヘキサゴンコンサート

- 辻本憲一(Tp) 長谷川智之(Tp) 森博文(Hr) 箱山芳樹(Tb) 外園祥一郎(ユーフォニアム)
- 池田幸広(Tub)
- 鈴木英史:ファンファーレ 兼田敏:エビソード 天野正道:大切なおもちゃ箱 他
- 自由3,500 学生2,500 ブラス・ヘキサゴンコンサート事務局(MAP'S内) 03-6410-5952

20日(水) 公演準備

21日(木) 19:00 2010都民芸術フェスティバル 室内楽シリーズNo.9 田部京子「室内楽のタバ」

- 田部京子(Pt) 矢部達哉(Vn) 島田真千子(Vn) 井野豊太輔(Va) 山本裕康(Vc)
- シューマン:ピアノ三重奏曲第1番 ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ第5番「春」
- ブラームス:ピアノ五重奏曲
- 指定3,000 日本演奏連盟 03-3437-6837 <http://www.jfm.or.jp>

22日(金) 日本テレマン協会定期演奏会第192回公演～中野振一郎と東京の仲間達～

- 中野振一郎(Cm) 川田知子(Vn) 山本友重(Vn) 篠崎友美(Va) 山本裕康(Vc) 吉田秀(Cb)
- ヴィヴァルディ:弦楽合奏の為の協奏曲「田舎風」「ラ・ラ・ラ・ラ」他
- 自由3,500(当日4,000) 65歳以上(当日共)2,000
- 日本テレマン協会 06-6345-1046 <http://www.telemann.ws>

23日(土) 14:00 鈴木愛理「ヴァイオリンリサイタル

- 鈴木愛理(Vn) 鈴木慎崇(Pt)
- ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ第5番「春」 プロコフィエフ:ヴァイオリンソナタ第2番 他
- 指定4,500 MIN-ONインフォーメーションセンター 03-3226-9999 <http://www.min-on.or.jp>

19:00 オットー・ウインズ2010～管楽重奏による室内楽の魅力～

- 藤田乙比古(Hr) 藤田旬(Fg) 三原隆正(Ob) 三倉麻美(Cl) 小澤洋介(Vc) 他
- グリーグ:叙事曲組曲 ベートーヴェン:六重奏曲 ヤン・ケッサー:木管八重奏曲 他
- 自由3,000 ハラヤミュージックエンターブライズ 03-3587-0218 <http://www.harayamusic.com>

24日(日) 城代さや香「ヴァイオリンリサイタル

- 城代さや香(Vn) 鶴宮美幸(Pt)
- モーツアルト:ヴァイオリンソナタ K.378 ブラームス:ヴァイオリンソナタ第1番「雨の歌」 他
- 自由2,500 日本演奏連盟 03-3437-6837 <http://www.jfm.or.jp>

25日(月) 19:00 ロンドン交響楽団ブ拉斯・クインテット

- ナッシュル・ゴム

2月 大ホール

1~3月の催し物案内

● 最新の催し物日程は当会館ホームページをご覧ください。 <http://www.t-bunka.jp>6
土
7
日

2010都民芸術フェスティバル
藤原歌劇団「カルメル会修道女の対話」
(ブランク作曲・全3幕・字幕付原語(フランス語)上演)

6日(土)15:00 7日(日)15:00

■アラン・ギンガル(指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団 藤原歌劇団合唱部
ブランシュードラ・フォルス:出口正子(6日)/佐藤ア希子(7日)
クロワ・シエド院長:森山京子(6日)/郡愛子(7日)
リドワヌ修道院長:佐藤ひさら(6日)/本宮寛子(7日)

■松本重孝(演出)
特別席18,000 A14,000 B10,000 C7,000 D5,000 E3,500 F2,000

■日本オペラ振興会チケットセンター 03-6407-4333 <http://www.jof.or.jp/>

アラン・ギンガル 松本重孝 出口正子 佐藤ア希子

11
木・祝**第7回東京音楽コンクール優勝者コンサート**

11日(木・祝)14:30

■梅田俊明(指揮) 東京都交響楽団 井上富美子(司会)
【木管部門第1位】極木亜裕美(Cl)
ウエバー:クラリネット協奏曲第1番 ハ短調 op.73
【弦楽部門第1位】大島亮(Va)
バルトーク:ヴィオラ協奏曲(選作)
【声楽部門第1位】清水理恵(Sop)
グノー:歌劇「メオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」
ベッリーニ:歌劇「夢遊病の女」より「ああ、信じられない」
ヴェルディ:歌劇「ラ・トラヴィアータ」より「ああ、そなかの人かへ花から花へ」

【ピアノ部門第1位】加藤大樹(Pf)
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 op.26

■指定2,000(※詳細は5ページをご覧下さい)
■東京文化会館事業企画課 03-3828-2111 <http://www.t-bunka.jp/>



極木亜裕美 大島亮 清水理恵 加藤大樹

17
水

2010都民芸術フェスティバル
東京二期会オペラ劇場「オテロ」
(ヴェルディ作曲・全4幕・字幕付原語(イタリア語)上演)

17日(水)18:30 18日(木)18:30
20日(土)14:00 21日(日)14:00

■ロベルト・リッソイ・ブリヨーリ(指揮) 東京都交響楽団 二期会合唱団
オテロ:福井敬(17・20日)/成田勝美(18・21日)
デズデモナ:大山亞紀子(17・20日)/日比野幸(18・21日)
イアゴ:大島幾雄(17・20日)/大沼徹(18・21日)

■白井晃(演出)
特別席16,000 A13,000 B10,000 C8,000 D6,000 E2,000 学生2,000

■二期会チケットセンター 03-3796-1831 <http://www.nikikai.net/>

福井 敬 成田勝美 大島幾雄 大沼 徹

16日(火)17:00
青少年のための舞台芸術体験プログラム
「オテロ」公開リハーサル
※詳細は<http://www.t-bunka.jp/>

小ホール

都民劇場音楽サークル第575回定期公演
ウィーン放送交響楽団

22日(月)19:00

■ベルトラン・ドゥ・ビリー(指揮) ウィーン放送交響楽団
グザヴィエ・ドゥ・メストレ(Hp)
■ファリヤ:パレエ「三角帽子」第2組曲
ロドリゴ:アランフェス協奏曲(ハープ版)
ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲
交響詩「海」

■S14,000 A11,000 B8,000 C5,000

■東京文化会館事業企画課 03-3572-4311 <http://www.tomin-gekijo.or.jp/>ベルトラン・ドゥ・ビリー グザヴィエ・ドゥ・メストレ
©Marco Borggreve

東京バレエ団創立45周年記念公演X
「シルヴィア」全3幕

26日(金)18:30 28日(日)15:00

■ベンジャミン・ボープ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団
シルヴィア:ボリーナ・セミオノワ(ベルリン国立バレエ団)
アミンタ:マルセロ・ゴメス(アメリカン・バレエ・シアター)
■フレデリック・アシュトン(振付)
■S13,000 A11,000 B9,000 C7,000 D5,000 E3,000
エコノミー2,000 学生1,500
【ペア券】Sペア25,000 Aペア21,000 Bペア17,000
【親子ペア券】親子Sペア19,500 親子Aペア16,500 親子Bペア13,500

■NBSチケットセンター 03-3791-8888 <http://www.nbs.or.jp/>

マイ・キャストシリーズ[3]

27日(土)15:00

■ベンジャミン・ボープ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団
シルヴィア:田中結子
アミンタ:木村和夫
■フレデリック・アシュトン(振付)
■S7,000 A5,000 B4,000 C3,000 D2,000 エコノミー1,500 学生1,000
【親子ペア券】親子Sペア10,500 親子Aペア7,500 親子Bペア6,000
■NBSチケットセンター 03-3791-8888 <http://www.nbs.or.jp/>

2月下旬
青少年のための舞台芸術体験プログラム
「シルヴィア」公開リハーサル
※詳細は<http://www.t-bunka.jp/>



シルヴィア ©Enrico Nawrath



東京文化会館チケットサービスのご案内

東京文化会館で開催される公演のチケットをご購入いただけます。

※一部公演を除く

他会場公演のチケットも多数お取り扱いがございます。是非ご利用ください。

営業時間 10:00~19:00(休館日を除く)
TEL 03-5685-0650
HP <http://www.t-bunka.jp/>

19:00 小澤洋介チェロリサイタル

■小澤洋介(Vc) ラファエル・ゲーラ(Pf)
■コーディ:無伴奏チエロソナタ R.シュトラウス:チエロソナタ 黒敏郎:文楽 他
■自由4,000 学生2,500
■ハラヤミュージックエンターブライズ 03-3587-0218 <http://www.harayamusic.com/>

19:00 クリスト・シェクラーバリトリニサイタル

■クリスト・シェ克拉ーバリ(Br) 松山優香(Pf)
■シューベルト:歌曲集「冬の旅」
■自由5,000
■インターミューズ・トキヨウ 03-3475-6870

19:00 高野二郎テノール・リサイタル

■高野二郎(T) 山田武彦(Pf)
■ヘンデル:歌劇「セルセ」より「オランダ・マイ・ブ」 モーツアルト:歌劇「魔笛」より「ああ、何と強力な魔法の音が」 他
■指定4,500
■MIN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999 <http://www.min-on.or.jp/>

19:00 第14回JILA音楽コンクール入賞・入選者エクセレントステージ

■北川里(Mar) 篠崎陽子(Mar) 内田朋恵(Cl) 武市綾乃(マンドリン) 他
■ヴェルディ:歌劇「リゴレット」の旋律による演奏会用幻想曲 安倍圭子:ブリズム・ラ・ボノイ
カルロ・ムニエル:変奏的アリア第1番 N.J.ジブコビッチ:マリンバ・オーケストラのための協奏曲第2番
■自由3,500 ■JILAチケットセンター 03-3356-4140 <http://www.jila.co.jp/>

11:00 創造・楽落らいぶ Vol.11 -音楽家と落語家のコラボレーション-

■三遊亭遊雀(落語) 中瀬香寿子(Fl) 他
■第1部:ミニコンサート&トーク 第2部:落語と音楽のコラボレーション「堪忍袋」
■自由500
■東京文化会館事業企画課 03-3828-2111 <http://www.t-bunka.jp/>

19:00 松村英臣ピアノリサイタル

■ベルク:ピアノソナタ リスト:ピアノソナタ シューベルト:ピアノソナタ第21番
■自由4,000(当日5,000)
■コジマ・コンサートマネジメント 03-5379-3733 <http://www.kojimacm.com/>

14:30 第35回緑の街サロンコンサートin東京～押部朋子(フルート)デビューリサイタル

■押部朋子(Fl) 遠藤直子(Pt)
■モーツアルト:ロンド op.184 武満徹:ボイス ライネッケ:ソナタ「ウンディーヌ」 他
■自由3,000(当日3,500) 学生2,000
■緑の街ミュージックフレンズ 03-3937-2608 <http://home.att.ne.jp/sigma/midormif/>

14:00 アマチュアピアノコンクール優勝者によるピアノジョイントコンサートvol.6 Let's Enjoy Piano-ing!

■所千晴(Pt) 松本淳(Pf) 小久保和哉(Pf) 深津徹(Pf)
■ショパン:ポロネーズ第6番「英雄」、幻想曲 リスト:パード第2番、超絶技巧練習曲第5番「鬼火」 他
■自由1,500(当日2,000)
■松本 090-6139-5686 <http://allegro.dip.jp/piano-ing/concert/>

19:00 伊福部昭の音楽 vol.2

■藍川由美(S) 野坂操壽(二十五絃箏) 小宮瑞代(二十五絃箏) 木村茉莉(Hp) 他
■物云舞 幻哥 摩周湖 窪篠歌 因幡万葉の歌五首
■自由4,000 学生当日2,000
■オフィス小野寺 050-7511-8457 http://www.jade.dti.ne.jp/onodera/ifukube_vol.1.html

19:00 小林五月ピアノリサイタル～シューマンチクルス Vol.6

■シーマン:子どもの情景、アラベスク、4つの行進曲、クライスレリアーナ
■自由3,500
■ミリオンコンサート協会 03-3501-5638 <http://www.millionconcert.co.jp/>

19:00 大谷真美子ピアノリサイタル

■ブルームス:3つの間奏曲 シューマン:3つのロマンス
スクリヤーピアノソナタ第9番「黒ミサ」 他
■自由4,000 学生2,000
■新演奏家協会 03-3561-5012 <http://www.shin-en.jp/>

14:00 バズ・ファイブ コンサート013

■砂川隆丈(Tp) 小川聰(Tp) 友田雅美(Hr) 加藤直明(Tb) 石丸薰恵(Tub)
■モーツアルト:三澤慶:歌劇「魔笛」序曲 ホルスト/金澤恵之:組曲「惑星」より「火星」「木星」 他
■自由3,000 大学生以下2,000
■プロアルテ ミジケ 03-3943-6677 <http://www.proarte.co.jp/>

19:00 大八木恭子ピアノリサイタル

■ラフニノフ:幻想小品 プロコフィエフ:ピアノソナタ第4番 J.S.バッハ:トッカータ ホ短調
ヘンデル:クラリーフーア組曲第3番 ムソルグスキイ:大八木恭子:交響詩「はげ山の一夜」
■自由4,000 学生2,000
■アカデミア・ミジケ 042-676-5024 franz@s4.dion.ne.jp

14:30 混声合唱団板橋アルモニー第10回定期演奏会

■清水雅彦(指挥) 相澤直人(指挥) 平塚洋子(Pf) 赤池美礼(Vn) 磯野正明(Vc)
■ヴィヴァルディ:信長貴富:混声合唱・ヴァイオリン・ピアノのための ヴィヴァルディが見た日本の四季
林光/谷川俊太郎(訳):混声合唱とピアノのための うつしいのはげつようびのごども[マザーグース歌曲集] 他
■自由1,000 ■混声合唱団板橋アルモニー 03-3963-4985

●主催者およびその他の都合により、公演内容が変更になる場合がございます。また、公演日、席種によって、チケットがご用意できない場合もございます。詳しくは、各主催者にお問い合わせください。
●掲載情報は2009年11月20日現在のものです。

【記号】■出演 □スタッフ □曲目・演目 □料金 □問い合わせ先 □ホームページ □eメール【略称】アルト(A) / アコーディオン(Acc) / アルトサクソフォン(A-sax) / パリトン(Br) / パリトン・サクソフォン(Br-sax) / バス(Bs) / バス・ブリオ(Bs-br) / コントラバス(Cb) / チェンバロ(Cem) / クラリネット(Cl) / カウンター・テナー(C-ten) / ファゴット(Fg) / フルート(Fl) / フォルテピアノ(Fp) / ギター(G) / ハープ(Hp) / ホルン(Hr) / キーボード(Key) / マリンバ(Mar) / ベンゾラブン(Ms) / オーボエ(Ob) / オルガン(Org) / バーカッション(perc) / ピアノ(Pn) / リエコロ(Picc) / ノブレス(Ns) / ノブレス・サクソフォン(S-sax) / テナーボーカル(Tp) / テナーサクソフォン(T-sax) / チューバ(Tub) / ヴィオラ(Va) / ヴィオラ・フロッグ(Vib) / ヴァイオリン(Vn) / ヴォーカル(Vo)

14:00 高嶋ちさ子ヴァイオリソナタ

■高嶋ちさ子(Vn) 松本蘭(Vn) 近藤亜紀(Pf)
■「愛の3部作」愛のあいさつ～愛の悲しみ～愛の喜び
J.S.バッハ:2つのヴァイオリンのための協奏曲 ショパン:幻想即興曲 他
■指定5,500 ■東京音協 03-3201-8116 <http://www.t-onkyo.jp/>

15 休館日

16 休館日</

3月 大ホール

1~3月の催し物案内

● 最新の催し物日程は当会館ホームページをご覧ください。
Please see the homepage about information in English. <http://www.t-bunka.jp>

3月 水 ニーナ・アナニアシヴィリ&グルジア国立バレエ「ジゼル」全2幕

3日(水) 19:00

■ザーザ・カルマヘリーゼ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団
ジゼル:ニーナ・アナニアシヴィリ
アルブレヒト:アンドレイ・ウヴァーロフ(ボリショイ・バレエ)
■ジャン・コラリー、ジュール・ペロー
マリウス・プティバ(振付)

2日(火) 17:00(予定)
青少年のための舞台芸術体験プログラム
「ジゼル」公開リハーサル
※詳細は <http://www.t-bunka.jp/>



「ジゼル」 ©Gene Schiavone

©瀬戸秀美

5月 金 「ロミオとジュリエット」全3幕

5日(金) 18:30

■ザーザ・カルマヘリーゼ(指揮) 東京ニューシティ管弦楽団
ジュリエット:ニーナ・アナニアシヴィリ
ロミオ:アンドレイ・ウヴァーロフ(ボリショイ・バレエ)
マキシム:岩田弘(ボリショイ・バレエ)

ティボルト:イラクリ・パフアゼ
■レオニード・ラヴロフスキ(原振付)
ミハイル・ラヴロフスキ(改訂振付)

¥19,000 A16,000 B13,000
C10,000 D7,000 E4,000
■ジャパン・アーツ(原)
03-5237-7711
<http://www.japanarts.co.jp/>



「ロミオとジュリエット」

7月 木 都民交響楽団第109回定期演奏会

7日(日) 14:00

■末廣 誠(指揮)
■ハイドン:交響曲第104番「ロンドン」
マーラー:交響曲第5番
■入場無料
(往復ハガキで申込み後、抽選
平成22年2月3日消印有効)
■都民交響楽団(根岸)
080-3247-2869
<http://www11.big.or.jp/~tmk/>



都民交響楽団

12月 金 パリ・オペラ座バレエ団「シンデレラ」全3幕

12日(金) 18:30 13日(土) 13:30/18:30

14日(日) 13:30 15日(月) 18:30

■東京ニューシティ管弦楽団

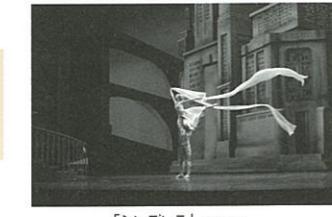
シンデレラ:
アニエス・ルテステュ(12日)
マリー・アニエス・ジロー(13日昼・14日)
デルフィーヌ・ムッサン(13日夜・15日)
映画スター:
ジョゼ・マルティネス(12日)
カール・バケット(13日昼・14日)
マチュー・ガニオ(13日夜・15日)

■ルドルフ・ヌレエフ(振付)
¥25,000 A22,000 B19,000 C15,000 D11,000 E7,000
Eコノミー6,000 学生3,000
【ペア券】Sペア49,000 Aペア43,000 Bペア37,000
【親子ペア券】
親子Sペア37,500 親子Aペア33,000 親子Bペア28,500
■NBSチケットセンター 03-3791-8888 <http://www.nbs.or.jp/>



「シンデレラ」 ©Laurent Philippe

3月中旬
青少年のための舞台芸術体験プログラム
「シンデレラ」または「ジゼル」公開リハーサル
※詳細は <http://www.t-bunka.jp/>



「シンデレラ」 ©Laurent Philippe

小ホール

ホーリー

18木 パリ・オペラ座バレエ団「ジゼル」全2幕

18日(木) 19:00 19日(金) 19:00
20日(土) 13:30/18:30 21日(日・祝) 13:30

■東京フィルハーモニー交響楽団

ジゼル:
アニエス・ルテステュ(18日・20日昼)
ドロテ・ジルベル(19日)
イザベル・シラヴァ(20日夜)
オレリー・デュポン(21日)
アルブレヒト:
ジョゼ・マルティネス(18日・20日昼)
マチアス・エイマン(19日)
バンジャマン・ベッシュ(20日夜)
ニコラ・ル・リッシュ(21日)
■ジャン・コラリー、ジュール・ペロー(振付)
¥25,000 A22,000 B19,000 C15,000 D11,000 E7,000
Eコノミー6,000 学生3,000
【ペア券】Sペア49,000 Aペア43,000 Bペア37,000
【親子ペア券】
親子Sペア37,500 親子Aペア33,000 親子Bペア28,500
■NBSチケットセンター 03-3791-8888 <http://www.nbs.or.jp/>



ジゼル ©Sébastien Mathe

24水 コンサート・タペ

24日(水) 18:30

■曾我大介(指揮) オーケストラ・アンサンブル・ジャパン
新 弥生(Pf) 野々垣真理(Ci) 山口昌子(Pf)
■グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 op.16
ショパン:ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11
モーツアルト:クラリネット協奏曲 イ短調 K.622
ベートーベン:ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」
■自由5,000
■JILAチケットセンター 03-3356-4140
<http://www.jila.co.jp/>

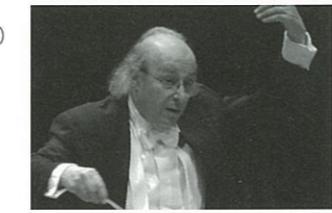
曾我大介
大浦綾子
山口昌子

25木 東京都交響楽団第694回定期演奏会

25日(木) 19:00

■エリアフ・インバル(指揮)
■ブルックナー:交響曲第8番 ハ短調
(ノヴァーク1887年版)

¥7,500 A6,500 B5,500
C4,500 Ex2,200
■都響ガイド
03-3822-0727
<http://www.t-bunka.jp/>



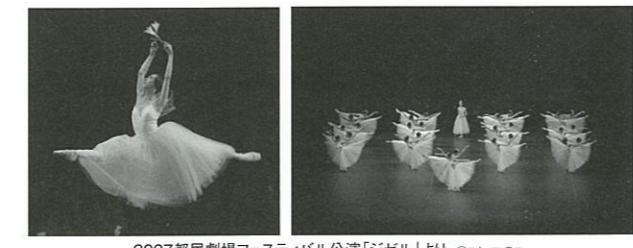
エリアフ・インバル ©竹原伸治

27木 2010都民芸術フェスティバル
日本バレエ協会「ジゼル」全2幕(メアリー・スキーピング版)

27日(土) 18:30 28日(日) 14:00/18:30

■渡邊一正(指揮) ロイヤルメトロポリタン管弦楽団

ジゼル:酒井はな(27日)/永橋あゆみ(28日昼)/島田衣子(28日夜)
アルブレヒト:青木崇(27日)/法村圭祐(28日昼)/秋元康臣(28日夜)
ヒラリオン:沖潮隆之(27日)/原田公司(28日昼)/小林寛太(28日夜)
■メアリー・スキーピング(改訂振付)
¥10,000 A80,000 B6,000 C4,000 ※当日学生券各2,000円引き・要学生証
■(社)日本バレエ協会 03-5437-0371 <http://www.j-b-a.or.jp/>



2007都民劇場フェスティバル公演「ジゼル」より ©スタッフ・テス

1 19:00 リポー馬頭琴リサイタル

■リポー(馬頭琴) NAGISA(馬頭琴) 平井良子(Pf)
■リポー:スホの白い馬、チャールダーシュ 岡野貞一:おぼろ月夜
カッチーニ:アヴェ・マリア アメイジング・グレイス 他
■自由5,000 ■プロアルテ ムジケ 03-3943-6677 <http://www.proarte.co.jp/>

2 19:00 関野直樹ピアノコンサート

■関野直樹(Pf) 他
■ショパン:ポロネーズ第6番「英雄」、ピアノ協奏曲第1番(弦楽五重奏版) リスト:死の舞踏 他
■自由4,500 学生3,000
■プロアルテ ムジケ 03-3943-6677 <http://www.proarte.co.jp/>

3 19:00 2010都民芸術フェスティバル室内楽シリーズNo.9

■クアルテット・エクセルシオ「弦楽四重奏のタペ」
■西野ゆか(Vn) 山田百合子(Vn) 吉田有紀子(Va) 大友肇(Vc)
■ハイドン:弦楽四重奏曲第6番「ぱい」 ベートーベン:弦楽四重奏曲第9番「ラズモフスキ」他
■指定3,000 ■日本演奏連盟 03-3437-6837 <http://www.jfm.or.jp/>

4 19:00 北島公彦ピアノリサイタル

■ショパン:バラード第1番、第2番、第3番、第4番 他
■自由4,000
■新演奏家協会 03-3561-5012 <http://www.shin-en.jp/>

5 19:00 レクチャーコンサート「作曲家の挑戦」シリーズ 第5回 無伴奏チェロの探訪

■堤剛(Vc)、ナビゲーター
■J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第6番 レーガー:無伴奏チェロ組曲第2番 コダーリ:無伴奏ソロソナタ
■¥3,800 A2,800 B1,000
■東京文化会館事業企画課 03-3828-2111 <http://www.t-bunka.jp/>

6 13:30 第33回全都・区職員合唱祭

■東京都庁合唱団 せいむ合唱団 新宿区職員コーラス 他約20団体
■未定
■入場無料
■東京都職員文化合唱部(島田) 042-644-1114

7 14:00 諸田広美メゾプラノリサイタル

■諸田広美(Ms) 田中梢(Pf)
■ヘンデル:歌劇「セレセ」より「オンブラン・マイ・フ レスピーギ:「4つの詩」より「古い歌」に
ビゼー:歌劇「カルメン」より「ハバネラ」 マスネ:歌劇「ウェルテル」より「手紙の歌」 他
■自由2,500 ■日本演奏連盟 03-3437-6837 <http://www.jfm.or.jp/>

8 19:00 山本修コントラ・ソラリサイタル

■山本修(Cb) 横山幸雄(Pf)
■ミシック:ソナタ第1番 J.S.バッハ:ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ第3番 他
■自由4,000 ¥500 (当日 ¥700)
■都響ガイド 03-3822-0727 <http://www.tmsso.or.jp/>

9 19:00 月の203号室コンサート

■蓮本俊介(Key, カホン, コラス) 西畠春之介(Vo, Gt)
■family two star hello 最後の朝焼け 夢つづけて ホントによかった 他
■指定4,500
■東京音響 03-3204-9933 <http://www.ro-on.jp/>

10 11:00~12:00 東京文化会館モーニングコンサートVol.35

■吉田誠(Ci) 阿部加奈子(Pf)
■サン・サンズ:クラリネットソナタ ヴェルディ/ロヴェーリョ:「椿姫」の旋律による演奏会用幻想曲 他
■自由500
■東京文化会館事業企画課 03-3828-2111 <http://www.t-bunka.jp/>

11 19:00 原佳大とウィーンの仲間たち

■原佳大(Pf) 長谷川幸生(Pf) 水谷直子(Pf) ジュゼッペ・マリオッティ(Pf)
■モーツアルト:2台ピアノのためのソナタ K.448 ショパン:2台ピアノのためのロンド
ブルームス:5つのワルツ(2台ピアノ版) ストラヴィンスキイ:ペトルーシュカからの3章(2台ピアノ版) 他
■自由4,000 ■プロアルテ ムジケ 03-3943-6677 <http://www.proarte.co.jp/>

12 19:00 アルブスに響くスイスヨーデルと民俗音楽の調べ

■スイス・アンサンブル・エンツィアン [伊藤啓子(ヨーデル) 新倉恵(Acc) 原ひふみ(Cl)
石川勝巳(Tub, アルボホルン)]
■トゲンブルクのヨーデル マロヤの風 他 ■指定3,500 (当日4,000)
■スイス・アンサンブル・エンツィアン 03-6750-4568/090-9151-8600 <http://www.enzian.jp/>

13 19:00 アンサンブル コルディエ定期演奏会vol.21「室内楽の輝き」

■大塚直哉(Cem) 野口千代光(Vn) 長谷部雅子(Vn) 菊地知也(Vc) 羽川真介(Vc)
■テレマン:ドン・キ・ホーテ組曲 他
■指定3,500
■アンサンブル コルディエ事務局 03-3851-7150

14 19:00 五郎部俊朗テノールコンサート

■五郎部俊朗(T) 金井信(Pf)
■歌部良一:青い山脈 八州秀香:あみの歌
見岳章:川の流れのように 遠藤実:高校三年生
■指定4,500 ■東京音協 03-3201-8116 <http://www.t-onkyo.jp/>

15 19:00 シュテファン・モーラビアノリサイタル

■シュテファン・モーラビアノリサイタル 合唱団
■シューベルト:ダヴィッド同盟舞曲集 シューベルト:ピアノソナタ第21番 他
■自由4,000
■(社)日本バレエ協会 03-3587-0218 <http://www.harayamusic.com/>

16 19:00 三浦一宏ピアノリサイタル

■コダーリ:譚想曲、マロシュセーク舞曲 ドナーニ:狂詩曲 op.11-3 リスト:ソナタ
■自由3,500
■インターミューズ・トキオウ 03-3475-6870

17 18:45 日本モーツアルト協会3月例会「弦楽五重奏のタペ」

■東京クラシスアンサンブル[景山誠治(Vn) 永峰高志(Vn) 景山裕子(Vn) 菅沼准二(Va)
市坪俊彦(Va) 河野

1~3月に開催される公演にちなんで、今回は録音資料7点、映像資料4点をご紹介します。

東京文化会館《響の森》vol.27
ニューイヤーコンサート2010

2月に都民芸術フェスティバルで上演されるオペラと東京バレエ団の初演となるプログラム曲の映像資料をご紹介します。

1

●LP **〔請求記号 P133.1〕**

ショパン/ピアノ協奏曲第1番ホ短調 Op.11

■演奏／ハリーナ・セルニ＝ステファンスカ(ピアノ)

ヴァーツラフ・スマーチェク指揮 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

■発売／日本コロムビア ◎発売番号:OS-7085-S

モーニングコンサートVol.34-35

Vol.34-35よりプログラム曲の映像・音源資料をご紹介します。

2

■Vol.34 2/17 泉沙織(ヴァイオリン)

●LD **〔請求記号 ALD684〕**

ブラームス／ヴァイオリン・ソナタ

第2番イ長調 Op.100 ほか

■演奏／イツァーク・バーリマン(ヴァイオリン)

ダニエル・バレンボイム(ピアノ)

■発売／ソニーレコード ◎発売番号:SRLM 1066

3

■Vol.35 3/10 吉田誠(クラリネット)

●CD **〔請求記号 3H1.34〕**

ヴェルディ(ロヴレーリョ編)／「椿姫」の旋律による

演奏会用幻想曲 ほか

■演奏／アレッサンドロ・カルボナーレ(クラリネット)

アンドレア・ディンド(ピアノ)

■発売／ピクターエンタテインメント ◎発売番号:VICC-60446

レクチャーコンサート「作曲家の挑戦」シリーズ
第4回・第5回

資料室からは第4回・第5回のナビゲーターを務める堀米ゆず子、堤剛の音源資料をご紹介します。

4

●CD **〔請求記号 4G2.40〕**

「堀米ゆず子 ヴァイオリン・ワークスVol.1」

シーベルト/ファンタジー

ハ長調 D.934, Op.159 ほか

■演奏／堀米ゆず子(ヴァイオリン)、野平一郎(ピアノ)

■発売／ナミレコード ◎発売番号:WWCC-7554

5

●CD **〔請求記号 3H4.70-71〕**

「J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲(全曲)」

■演奏／堤剛(チェロ)

■発売／マイスター・ミュージック

◎発売番号:MM-2034/2035

●資料室ご案内

東京文化会館4Fには、音楽資料室があります。楽譜、CD・LP、映像、図書など、クラシック音楽を中心とした資料の閲覧・視聴ができます。

初回は、お名前、住所を確認できるものをお持ちください。電話での資料に関するご質問にもお答えしております(日・祝日を除く9~17時)。

インターネットでも所蔵資料を検索することができます。

TEL:03-3828-2111(代表)

URL : <http://t-bunka.opac.jp/index.html>

コピー・サービスを除き、料金は必要ありません。

大ホールの公演から

2月に都民芸術フェスティバルで上演されるオペラと東京バレエ団の初演となるプログラム曲の映像資料をご紹介します。

6

●DVD **〔請求記号 DVD121〕**

歌劇「カルメル会修道女の対話」(ブランク作曲)

- 台本／ベルナス・ヨルジュ
- 出演／アンネ=ゾフィー・シュミット(ソプラノ)、パトリシア・プティボン(ソプラノ)
ロレンス・ダール(テノール)、ヘトヴィヒ・ファスベンダー(メゾ・ソプラノ) ほか
- 演奏／ヤン・ラタム=ケーニヒ指揮
ストラスブルー・フィルハーモニック管弦楽団 ほか
- 発売／アルトハウス
◎発売番号:100019 *日本語解説なし(独・英・仏語解説のみ)

7

●LD **〔請求記号 ALD110-111〕**

歌劇「オテロ」全曲(ヴェルディ作曲)

- 台本／アリゴー・ボート
- 出演／ジョン・ヴィーカーズ(テノール)、ミレッラ・フレーニ(ソプラノ)
ピーター・グロソップ(バリトン)、ステファニア・マラグー(メゾ・ソプラノ) ほか
- 演奏／ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 ほか
- 発売／ポリドール ◎発売番号:WOOZ 24001/24002

8

●DVD **〔請求記号 DVD1199〕**

バレエ「シルヴィア(全3幕 アシュトン版)」(ドリープ作曲)

- 振付／フレデリック・アシュトン
- 出演／ダーシー・バッセル(シルヴィア)、ロベルト・ポッレ(アミンタ)
ティアゴ・ソアレス(オリオン)、マーティン・ハーヴェイ(エロス) ほか
- 演奏／グラハム・ボンド指揮 コヴェント・ガーデン王立歌劇場管弦楽団
- 発売／クリエイティヴ・コア ◎発売番号:TDBA-5043

小ホールの演奏会から

小ホールで行われるコンサートの中から、次の3点をご紹介します。

9

■混声合唱団板橋アルモニー第10回定期演奏会

●CD **〔請求記号 3W2.74-76〕**

林光／マザー・グース歌曲集「うつくしいのはげつようびのこども」より ほか

■演奏／林光 指揮、寺嶋陸也(ピアノ)、東京混声合唱団

■発売／小学館 ◎発売番号:SHM-8~10

10

■第15回上野アミカルトランペットアンサンブル

～東京芸術大学トランペット専攻生によるコンサート～

●CD **〔請求記号 1G8.50〕**

プレスティ／5本のトランペットのための組曲 ほか

■演奏／TRUMPETS 5

■発売／コジマ録音 ◎発売番号:ALCD-7022

11

■第20回中榮子ソプラノリサイタル

●CD **〔請求記号 2Q6.65〕**

「日本の歌に魅せられて」

■演奏／前中榮子(ソプラノ)、花岡千春(ピアノ)

■発売／ナミレコード ◎発売番号:WWCC-7479

※当資料室には、この他にもさまざまな資料がありますので、是非ご利用ください。

●開室時間

火曜～土曜 13時～20時(コピー受付 18時30分まで)
日曜・祝日 13時～17時(コピー受付 16時まで)

●休室日

- ◆毎週月曜
*1月11日は祝日ですが、月曜のため休室となります。
- ◆保守日等(12月14-15日、1月28-29日、2月15-16日、3月22-24日)
- ◆年末年始(12月28日～1月4日)
詳しくは、ホームページのカレンダーもご覧ください。
URL:<http://www.t-bunka.jp/library/index.html>

「2010年」創立45周年を迎える都響が贈る注目のラインナップ

音脈読者のみなさま、いかがお過ごしでしょうか?

東京オリンピックの記念文化事業の一環として1965年、東京都によって設立された東京都交響楽団は、2010年、創立45周年を迎えます。東京文化会館50周年・都響45周年というアニバーサリーイヤーにお贈りする定期演奏会Aシリーズには、プリンシパル・コンダクターであるエリアフ・インバル、レジデンツ・コンダクターの小泉和裕の他、ベルンハルト・クレー、ヤクブ・フルシャなど話題の指揮者が登壇します!是非お楽しみに。

また、都響創立45周年を記念した特別企画もスタートします。まずは1月17日、東京文化会館小ホールで開催する室内楽コンサート。普段のオーケストラ演奏会とはひとあじ違う都響の魅力を再発見していただける企画です。

都響では今回掲載した東京文化会館での演奏会以外にも、サントリーホールや東京芸術劇場など都内主要ホールで様々な主催公演を開催しています。2010年度主催公演を掲載したリーフレットを無料で配布しておりますので、ご希望の方はぜひ都響ガイドまでお問い合わせください。

2010年度楽季 定期演奏会Aシリーズ(年間全9回) 各回19時開演 東京文化会館

前期シリーズ全5回

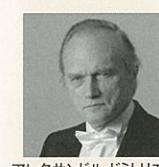
第697回

■4/22(木)
指揮 ● ジェイムズ・ジャッドピアノ/相沢史江子
モーツアルト:ピアノ協奏曲第17番
エルガー:交響曲第2番

第699回

■5/26(水)
指揮 ● 小泉和裕
ヴァイオリン ● ジェニファー・ギルバートグラズノフ:ヴァイオリン協奏曲
ニールセン:交響曲第4番「不滅」 ほか

第700回

■6/16(水)
指揮 ● エリアフ・インバル
ソプラノ ● ノエミ・ナーデルマン
メゾ・ソプラノ ● イリス・フェルミリオン
合唱 ● 二期会合唱団
マーラー:交響曲第2番「復活」

第703回

■9/30(木)
指揮 ● アレクサンドル・ドミトリエフ
ピアノ/マルク・ラフォレ
チャイコフスキイ:ピアノ協奏曲第1番
プロコフィエフ:交響曲第7番 ほか

第704回

■10/18(月)
指揮 ● ベルンハルト・クレー
ヴァイオリン ● ラファエル・オレグ
モーツアルト:ヴァイオリン協奏曲第4番
R.シュトラウス:「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないなづら」 ほか

後期シリーズ全4回

第706回

■11/29(月)
指揮 ● エリアフ・インバル
ヴァイオリン ● 四方恭子モーツアルト:ヴァイオリン協奏曲第3番
ブルックナー:交響曲第6番

第709回

■12/20(月)
指揮 ● ヤクブ・フルシャ
ピアノ ● ニコライ・ルガンスキーショパン:ピアノ協奏曲第1番
マルティニー:交響曲第3番 ほか

第711回

■2011.1/24(月)
指揮 ● ヨナタン・シュトックハンマー
サクソфон ● 須川展也
ピアノ ● 永野英樹
ハープ ● 吉野直子西村朗:サクソфон協奏曲「魂の内なる存在」
ジョリヴェ:ピアノ協奏曲/ハープと室内管弦楽のための協奏曲 ほか

第712回

■2011.3/23(水)
指揮 ● エリアフ・インバル
ピアノ ● 児玉桃モーツアルト:ピアノ協奏曲第9番「ジュノム」
ブルックナー:交響曲第9番

.....あなただけの指定席で.....

おトクな会員券
年間・前期シーズン会員券/都響メイト

1月14日(木)

発売!

●〈年間会員券〉全9回 S¥40,500、A¥34,200、B¥27,900、C¥21,600、Ex¥13,500
●〈前期シーズン会員券〉全5回 S¥25,500、A¥21,500、B¥17,500、C¥13,500、Ex¥8,500
●〈前期都響メイト〉全9回 先着100名様限定

PRESENT

ご希望のプレゼント、また「音脈・公演情報」に対してのご意見やご感想、今後取り上げて欲しいテーマなどを明記の上、下記まで郵送またはメールでご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。

第7回東京音楽コンクール

優勝者コンサート招待券

2月11日(木・祝) 14:30開演

5組
10名様

東京文化会館友の会「Club Wa-Wa」のご案内

 最新の友の会特典情報【先行発売・割引情報・公演ご招待等】は、東京文化会館ホームページからご覧頂けます。友の会では会報誌Letter Club Wa-Waを月1回発行しています。

■年会費

推奨 ベーシックプラン(ホームページ、メールマガジン)¥2,100
クラシックプラン(会報誌ご郵送)¥2,625

■特典内容

- チケット割引販売 5~30%OFF
東京文化会館自主事業(一部公演を除く)をはじめ、東京文化会館が指定する公演のチケットを会員価格でご購入いただけます。
- チケット先行販売
東京文化会館が指定する公演のチケットを一般発売日前に購入いただけます。
- 公演ご招待
東京文化会館が指定する公演に抽選で会員の方をご招待
- 館内のレストラン・ショップの割引販売
東京文化会館内のレストランフォレスティユとギフトショップで5%割引(一部対象外商品有)
- 広報誌の郵送
東京文化会館で年4回発行する広報誌「音脈・公演情報」をご自宅へご郵送
- ヤマハ銀座店で5%割引(一部対象外商品有)
- (財)東京都歴史文化財団の運営する施設の入館料等の割引(割引率につきましては、各施設により異なります)

お問い合わせ：東京文化会館友の会事務局 TEL.03-3828-1696(平日9:00~17:00)

年末年始休業：12月26日~1月4日

お申し込み：○ご来館 東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00)

○当館HP <http://www.t-bunka.jp/wawa/how.html>(24時間受付)

12月20日(日)必着

公演の詳細は5ページ参照。

〒110-8716 台東区上野公園5-45
東京文化会館「音脈・公演情報」編集部“読者の声”係
E-mail:oto@t-bunka.jp

東京文化会館ギフトショップより

1年で最も寒い時期に、思わず心が温まるびきりの新着グッズをギフトショップからご紹介。クラフツマンシップ溢れるカナダ製の白鳥とバレリーナが愛らしいウォータードームです。大きい方はオルゴールが付いており、音楽と共にバレリーナが回転しキラキラの雪が舞います。

《ウォータードーム》

大:オルゴール 白鳥の湖(バレリーナ) 8,610円(税込)
小:ウォーターグローブ バレリーナ 3,675円(税込)



■ カフェ

cafe HIBIKI

オープン・カフェ・ゾーンとして
お気軽にご利用いただけます。
4月にリニューアルオープンいたしました。
おいしいコーヒーでお持て成しいたします。

TEL&FAX 03-3821-9151
(東京文化会館1階・国立西洋美術館側)



■ ギフトショップ&チケットサービス

東京文化会館ギフトショップ

東京文化会館オリジナルグッズを中心に
音楽関連グッズを販売中♪

みなさまのお越しをお待ちしております。
(東京文化会館友の会会員5%OFF)

TEL 03-3828-2223
FAX 03-3828-2224
(東京文化会館1階 チケットカウンターとなり)



東京文化会館
チケットサービス

TEL&FAX 03-5685-0650
(東京文化会館1階)

■ フラワーショップ

CADEAUX

カドー

花は空間に落着きをもたらし、
人の心を癒します…
大切な人に季節のフラワーを…
季節の花であしらった花束・アレンジメント
を用意してお待ちしております。
電話・FAXでのご予約も承ります。

TEL&FAX 03-3828-8741
(東京文化会館1階・受付正面)



Forestier

フォレスティユ



Luxury Modern

ラグジュアリー・モダン

劇場の余韻に浸る空間

 亜野精養軒

TEL 03-3821-9151
(東京文化会館2階)